名古屋市博物館

年　　報

令和元年度

No. 43

名古屋市博物館

はじめに

名古屋市博物館は中部地方を代表する歴史系の総合博物館として、尾張の歴史・文化に関わる資料の収集保存、調査研究を行い、また、国内外の優れた文化財を紹介する展覧会を開催し、地域の歴史・文化を見つめ直す機会を提供しています。本書は、当館が令和元年度に実施した事業の概要を報告するものです。

資料の収集、調査研究活動としては、237 件 2,977 点の資料を収集し、秀吉研究の推進では、『豊臣秀吉文書集』第 6 巻を発刊しました。また、「よみがえれ文化財」事業では、「竹村文男写真資料」などの保存処理・デジタル化を行いました。

展覧会では、企画展 2 本、共催展 4 本(内 1 本は昨年度からの継続)を開催いたしました。当館所蔵の江戸時代の書にスポットをあてた「書で集う」、アメリカを代表する新聞連載コミック「ピーナッツ」の原画を紹介する「スヌーピーミュージアム展」、伊勢湾台風 60 年事業として、江戸時代から現代にいたる濃尾平野の歴史的災害を取り上げた「治水・震災・伊勢湾台風」、埋蔵文化財の発掘調査の成果を展示する「発掘された日本列島 2019」と尾張地域の発掘にスポットをあてた地域展「尾張の城と城下町」、やなせたかし氏の生誕 100 周年を記念して彼の作品を紹介する「やなせたかしとアンパンマン展」を開催しました。

常設展では、『豊臣秀吉文書集』の成果と関連する「秀吉の朝鮮出兵と尾張」や、当館が近年収集した仏教美術の資料を紹介する「浄土へのあこがれ」などの展示を行いました。

これらに加え、まが玉づくりや少し昔のおもちゃで遊びを体験できる「歴史体験セミナー」、学芸員の研究成果やタイムリーな話題をお伝えする「はくぶつかん講座」、小学校の授業にあわせた「くらしのうつりかわり」事業、市民の皆様とともに「ワークショップまつり」などを実施しました。

さらに、博物館の魅力向上に向けた基礎的な調査及び検討を行いました。

分館の名古屋市蓬左文庫では、「殿さまとやきもの―尾張徳川家の名品―」など、2 本の特別展と 5 本の企画展を開催し、学芸員らによる蓬左文庫講座などを実施しました。

名古屋市秀吉清正記念館では、1 本の特別陳列、1 本の特集展示と 4 本のパネル展示を開催しました。特別陳列「秀吉清正記念館　秘蔵の逸品」では、これまで展示テーマの制約などにより展示される機会に恵まれなかった秘蔵の資料を一堂に公開いたしました。

一方で、世界的に感染が拡大した新型コロナウイルスの影響により、当館および分館も令和 2 年 2 月 29 日から休館を余儀なくされました。その間、特別展、常設展、はくぶつかん講座の一部を中止した傍ら、休館中も博物館について知ってもらう、楽しんでもらうための積極的な情報発信に努めてきました。

6 月 2 日より再び開館の運びとなりましたが、今後も地域の歴史・文化を紹介するとともに、楽しく親しみやすい博物館をめざし、職員一同精勤してまいる所存です。引き続き皆様のご助力を賜りますよう、お願い申し上げます。

令和 2 年 8 月

名古屋市博物館

目　次

はじめに

事業概要
Ⅰ 展　示 ---------- 3
1 常設展　2 企画展　3 共催展　4 イキイキ博物館
Ⅱ 教育・普及 ---------- 12
1 広報　2 団体観覧　3 教育活動　4 出版物　5 友の会
6 共催の教育・普及事業　7 大学パートナーシップ
Ⅲ 資　料 ---------- 15
1 調査　2 収集　3 特別利用　4 資料の貸出　5 収集資料目録
6 指定・認定文化財一覧（館蔵資料）7 指定・認定文化財一覧（受託資料）
Ⅳ 管理・運営---------- 28
1 博物館の魅力向上　2 主な維持補修・施設整備　3 みんなの博物館応援基金

分　館
Ⅰ 名古屋市蓬左文庫 ---------- 29
1 閲覧　2 展示　3 教育普及　4 調査研究　5 出版物　6 特別利用
7 複写　8 資料点数　9 資料の貸出　10 指定文化財一覧（所蔵資料）

Ⅱ 名古屋市秀吉清正記念館 ---------- 34
1 展示　2 教育普及　3 特別利用　4 資料の貸出
5 資料収集状況　6 指定文化財一覧（館蔵資料）

機　構 ---------- 36

名古屋市博物館協議会開催状況 ---------- 38

予　算 ---------- 38

名古屋市博物館利用状況 ---------- 39
1 企画展・共催展　2 常設展　3 月別入場者数
4 ギャラリー・講堂利用日数　5 年度別入場者数

出版物案内 ---------- 43

新型コロナウイルスの影響により、会期が変更になったもの、開催中止になったもの等については※で表記し、変更後の会期などを併記した。

事　業　概　要

Ⅰ　展　　示

1　常　設　展

常設展では旧石器時代から現代までの尾張の歴史を 16 のテーマに分け、約 1,000 点の実物・複製資料により紹介している。愛知県と連携して作成した三河など周辺地域にも関連する複製資料も展示し、より広い視点で尾張の歴史を紹介している。

長期間展示できない資料や新収品などはフリールームやテーマ 10 などで、小テーマを設定して展示している。本年度は、「中近世の石造物」「源氏絵」「秀吉の朝鮮出兵と尾張」などを開催した。

この他、「話題のコーナー」として、タイムリーな話題提供を試みている。4 月 1 日の新元号発表に伴い、翌 2 日から 5 月 6 日まで『校正万葉集通解』を展示した。また、アポロ 11 号の月面着陸 50 年を記念した「月への好奇心　江戸の天文学」（6 月 26 日～8 月 25 日）などの展示を開催した。

展示解説としては、説明キャプション、写真パネル、コンピュータ画面（しらべーる君）による情報の提供、ボランティアによる「展示ガイド」などを行っている。

観 覧 料　一　般　300 円　　高大生　200 円
　　中学生以下無料

観覧者数　63,587 人

（1）フリールームの展示替

「昭和天皇の即位御大典」

会　　期　3 月 27 日～5 月 12 日

展示意図　　天皇退位・新天皇即位の時期に合わせて、昭和天皇の京都での即位儀式等の様子や、往復路に名古屋離宮に宿泊した際の名古屋市での奉祝行事等の風景を紹介。

展示件数　35 件 184 点

「中近世の石造物」

会　　期　5 月 14 日～6 月 23 日

展示意図　　五輪塔や宝篋印塔、石仏など信仰・供養に関わる石造物の特徴や意味について、館蔵品や市・県の文化財指定を受ける石造物の写真などで紹介。

展示件数　12 件 12 点

「ゲームセンターの思い出」

会　　期　6 月 26 日～8 月 25 日

展示意図　　ゲームセンターを遊び場として考え、実際に稼働するゲームを日本ゲーム博物館の協力により展示した。エレメカの「ミニドライブ」、ビデオゲームの「スペースインベーダー」などをプレイできる展示とした。

展示件数　12 件 20 点

「源氏絵」（テーマ 10 との共通展示）

会　　期　8 月 28 日～10 月 20 日

展示意図　　『源氏物語』を描いた絵画「源氏絵」を、初公開の作品を交えながら、館蔵品を中心に紹介。

展示件数　14 件 20 点

「大口周魚とその周辺」

会　　期　10 月 22 日～12 月 22 日

展示意図　　名古屋出身の歌人・日本書道史研究者大口周魚の活動を、著作や作品に加え、中京地区出身の人物らとの交友状況も紹介。

展示件数　19 件 28 点

「くらしのうつりかわり」

会　　期　12 月 25 日～令和 2 年 3 月 22 日（予定）
（※変更後　12 月 25 日～令和 2 年 2 月 28 日）

展示意図　　小学 3 年生の社会科学習内容にあわせて実施。炭火のこたつ、湯たんぽや下駄など、100 年あまりの間に使われた道具を展示して、くらしがうつりか

わる様子を紹介。

展示件数　116 件 177 点

「新発見　高蔵遺跡」

会　　期　令和 2 年 3 月 25 日～5 月 24 日(予定)

(※変更後　中止)

展示意図　熱田区高蔵遺跡の歴史を、教育委員会文化財保護室との共催により、最新の発掘調査成果などから紹介。

展示件数　32 件 68 点（予定）

（2）近世尾張の文化（テーマ 10）の展示替

「舞楽」

会　　期　3 月 27 日～5 月 26 日

展示意図　舞楽を題材にした作品と、江戸時代の尾張で行われていた舞楽の様子を伝える史料を紹介。

展示件数　8 件 8 点

「西光寺地蔵菩薩立像の納入品」

会　　期　5 月 29 日～6 月 23 日

展示意図　平成 30 年、津島市西光寺地蔵菩薩立像と像内に収められた品々が国指定重要文化財に指定された。像内納入品を展示し、鎌倉時代初期の信仰について紹介。

展示件数　9 件 9 点

「浄土へのあこがれ」

会　　期　6 月 26 日～7 月 21 日

展示意図　近年収集した寄贈品・寄託品を中心に、極楽浄土への生まれ変わりを願う浄土信仰の美術を紹介。

展示件数　6 件 8 点

「有松・鳴海絞り　アフリカへ行く」

会　　期　7 月 24 日～8 月 25 日

展示意図　昭和 23 年有松・鳴海絞りがアフリカに輸出されていた様子を、当時を知る地元の方からの聞き書きとともに紹介。

展示件数　3 件 19 点

「源氏絵」（フリールームとの共通展示）

会　　期　8 月 28 日～10 月 20 日

展示意図　『源氏物語』を描いた絵画「源氏絵」を、初公開の作品を交えながら、館蔵品を中心に紹介。

展示件数　14 件 20 点

「更紗」

会　　期　10 月 22 日～11 月 24 日

展示意図　木綿布に草花や動物を染め付けたインド発祥の更紗。さまざまな地域へ渡り、その土地好みの模様へと発展していった様子を紹介。

展示件数　10 件 10 点

「没後 200 年　余延年」

会　　期　11 月 27 日～12 月 22 日

展示意図　江戸時代後期に活躍した尾張の篆刻家・余延年の活動を紹介。自作の印章や陶磁器、俳諧資料等を展示。

展示件数　13 件 55 点

「秀吉の朝鮮出兵と尾張」

会　　期　12 月 25 日～令和 2 年 2 月 24 日

展示意図　秀吉の朝鮮出兵(文禄の役)について、尾張にも及んだ影響と当時の尾張国内の状況を紹介。

展示件数　6 件 6 点

「浮世絵にみる有松絞店」

会　　期　令和 2 年 2 月 26 日～3 月 22 日(予定)

(※変更後　令和 2 年 2 月 26 日～2 月 28 日)

展示意図　葛飾北斎や歌川広重、小田切春江らが、どのように有松絞店を描いてきたかを紹介。あわせて昨年度の新収資料も初公開。

展示件数　11 件 11 点

「狐の嫁入り」

会　　期　令和 2 年 3 月 25 日～5 月 24 日(予定)

(※変更後　中止)

展示意図　擬人化された狐たちが装束をまと

って花嫁行列をなす「狐の嫁入り図」の江戸後期における作例を紹介。

展示件数 11 件 19 点（予定）

（3）まつり（テーマ 16）の展示替

「郷土玩具とまつり　岐阜・三重・静岡」

会　　期　1 月 23 日～4 月 21 日

展示意図　岐阜・三重・静岡県のまつりに関係する郷土玩具を紹介し、観光や土産物という側面に注目した。

展示件数　16 件 30 点

「鹿子神車山車模型」

会　　期　4 月 24 日～6 月 23 日

展示意図　6 月第一土日の出来町天王祭に曳き出される山車「鹿子神車」の模型を、祭りの様子とともに紹介。

展示件数　1 件 1 点

「海と平野の天王祭り」

会　　期　6 月 26 日～8 月 25 日

展示意図　尾張・知多の各地で広く伝えられ、多様な姿を見せる天王祭りについて、海（沿岸部）と平野（内陸部）に関係する資料から紹介。

展示件数　6 件 9 点

「名古屋のまつりと郷土玩具」

会　　期　8 月 28 日～10 月 20 日

展示意図　名古屋の山車まつりに関係する郷土玩具を紹介。明治時代以降の名古屋のまつりと郷土玩具をとりまく状況にも注目した。

展示件数　14 件 15 点

「南区牛毛神社の祭礼用具」

会　　期　10 月 22 日～12 月 8 日

展示意図　昨年度に南区元鳴尾町の牛毛神社から受贈した祭礼用具（馬を飾り付ける「馬の塔」の道具、三輪の祭り車の部材）を展示。

展示件数　1 件 11 点

「正月の遊び」

会　　期　12 月 10 日～令和 2 年 1 月 26 日

展示意図　小学校 1 年生の生活科の単元に対応して、正月の遊び、おもちゃを紹介。小学校の冬休み期間には、遊ぶことのできる体験コーナーも設置（12 月 10 日～令和 2 年 1 月 5 日）

展示件数　16 件 16 点

「馬の塔の飾り」

会　　期　令和 2 年 1 月 29 日～3 月 22 日（予定）

（※変更後　令和 2 年 1 月 29 日～2 月 28 日）

展示意図　馬の塔で用いられた馬道具を、その飾りに注目して展示。そこにデザインされた物語や縁起物、地域の由緒などを紹介した。

展示件数　4 件 5 点

「河水車の龍神唐子」

会　　期　令和 2 年 3 月 25 日～5 月 24 日（予定）

（※変更後　中止）

展示意図　かつて若宮まつりに曳き出された山車「河水車」のからくり人形「龍神唐子」および「龍神太鼓」（ともに中之切奉賛会蔵）を紹介。

展示件数　2 件 2 点（予定）

（4）話題のコーナー

「初春の令月、気淑く風和らぐ」

会　　期　4 月 2 日～5 月 6 日

展示意図　新元号「令和」の発表に伴い、『校正万葉集通解』稿本、巻五を展示し、新元号の典拠を紹介した。

展示件数　1 件 1 点

「尾張の医学・本草学」

会　　期　4 月 24 日～6 月 23 日

展示意図　5 月 18 日、19 日に愛知県で開催された日本医史学会にあわせて、江戸時代の尾張における医学、本草学資料を

紹介。
展示件数　9 件 32 点

「瑞穂区の遺跡と出土品」
会　　期　6 月 26 日～9 月 1 日
展示意図　　瑞穂区内の遺跡から出土した、弥生時代から江戸時代までの遺跡とその出土品を紹介。
展示件数　11 件 33 点

「月への好奇心　江戸の天文学」
会　　期　6 月 26 日～8 月 25 日
展示意図　　アポロの月面着陸からちょうど 50 年。月の実体をとらえようとする人々の歩みを江戸時代の資料でたどる。ナイトミュージアム「月のれきしツアー」連携展示。
展示件数　6 件 9 点

「古代のアクセサリー・勾玉」
会　　期　7 月 24 日～8 月 25 日
展示意図　　勾玉の特性や製作方法に焦点を当てつつ、管玉、切子玉、丸玉、小玉など古代の玉類を紹介。歴史体験セミナー「自分だけのまが玉づくり」連携展示。
展示件数　19 件 53 点

「昭和天皇の即位礼」
会　　期　10 月 8 日～11 月 4 日
展示意図　　新天皇の即位礼正殿の儀の時期に合わせて、春のフリールーム「昭和天皇の即位御大典」で紹介しきれなかった昭和天皇の即位礼紫宸殿の儀等に関する絵葉書を紹介。
展示件数　6 件 31 点

「河口部の漁」
会　　期　令和 2 年 1 月 29 日～3 月 22 日（予定）
（※変更後　令和 2 年 1 月 29 日～2 月 28 日）
展示意図　　ラムサール条約締結を記念して制定された「世界湿地の日」（毎年 2 月 2 日）に合わせて開催。河口部で行われた漁に注目し、沿岸部の生活を紹介した。
展示件数　12 件 14 点

「平成 30 年度の新収資料」
会　　期　令和 2 年 2 月 26 日～3 月 22 日（予定）
（※変更後　令和 2 年 2 月 26 日～2 月 28 日）
展示意図　　昨年度に購入・受贈した資料の中から、幕末の尾張藩主徳川慶勝の側近長谷川敬家の文書をはじめ尾張の歴史と文化に新たな話題を提供する資料を紹介。
展示件数　6 件 8 点

(5) 博物館ボランティアの活動

本年度に活動したボランティア登録者数　72 人
※令和 2 年 2 月 29 日より活動休止

《活動状況》
・休館日を除く毎日、午前 10 時から午後 4 時まで活動、毎日 2 人
・午前 11 時・午後 2 時からの定時ガイドのほか、随時ガイドを実施
　定時ガイド実施人数　延 317 人
　随時ガイド実施人数　延 6,319 人
・ワークショップまつりの運営
　7 月 27 日・7 月 28 日　36 人
・くらし体験学習室の運営補助
　令和 2 年 1 月 8 日～2 月 27 日　延 84 人
・歴史体験セミナーの運営補助
　「自分だけのまが玉づくり」
　8 月 24 日・25 日　延 9 人
　「おいしく作ろう　おこしもん」
　令和 2 年 2 月 22 日　11 人
・定例総会　4 月 13 日　1 回
・定例会　12 月 14 日　1 回
・勉強会の実施　4 回
・見学会の実施　3 回

2　企　画　展

(1) 企画展「書で集う―競うたのしみ　江

戸時代の寄り合い書き―」

会　　期　4月27日～6月2日
（開室日数32日）
会　　場　特別展示室
主　　催　名古屋市博物館
観 覧 料　一　般　300円　　高大生　200円
中学生以下無料
観覧者数　4,236人
展示意図　一つの作品を複数人が力を合わせて制作する「寄り合い書き」の作品を、書道史の視点から紹介。江戸時代の寄り合い書き作品を「制作背景に計画性がうかがえるもの」と「人物交流の中で偶発的に生み出されたもの」とに大別し、それぞれの制作背景や書法技術に注視した。合わせて現代の寄り合い書きの一つとして、「書道パフォーマンス」も取り扱った。
展示件数　69件
印 刷 物　図録A4判、ポスターB1・B3判、チラシA4判、観覧券
関連事業
ギャラリートーク
4月27日16人・5月15日30人
星子桃子（学芸員）　計46人
展示説明会
5月2日46人・26日45人
星子桃子（学芸員）　計91人
書道パフォーマンス
5月3日
会　場　当館正面玄関前
出　演　愛知県立愛知商業高等学校書道部
400人

(2)　伊勢湾台風60年事業「特別展 治水・震災・伊勢湾台風」

会　　期　9月21日～11月4日
（開室日数38日）
＊台風19号のため10月12日臨時休館
会　　場　特別展示室・部門展示室
主　　催　名古屋市博物館
協　　賛　矢作建設工業株式会社
観 覧 料　一　般　300円　　高大生無料
中学生以下無料
市内在住65才以上無料
観覧者数　14,716人
展示意図　東日本大震災以降、災害に対する社会的関心が大きく高まる中で、伊勢湾台風から60年の節目を迎えた。そこで本展では、濃尾平野で歴史上どのような災害が起きてきたのか、そして人々はどのように災害と向き合ってきたのかを紹介した。
展示件数　220件578点
印 刷 物　図録A4判、『台風記 子どもたちが見た伊勢湾台風』A5判、ポスターB1・B2・B3判、チラシA4判、こどもチラシA5判、観覧券、開会式招待状、『災害史を学ぶハンドブック』A5判、出品目録
関連事業
シンポジウム
9月21日　「災害と文化財・地域文化」
講　師　熊谷賢氏（陸前高田市立博物館主任学芸員）、浅川崇典氏（同館主事兼学芸員）、篠宮雄二氏（中部大学教授）、近藤佳世氏（愛知県文化財保護室主事）、田村哲氏（愛知県陶磁美術館主任学芸員）、鈴木雅（学芸員）
共　催　愛知県博物館協会
66人
9月28日　「災害史を学ぶ」
講　師　田中里枝子氏（名古屋市鶴舞中央図書館司書）、森菜々子氏（名古屋市南図書館司書）、鈴木雅（学芸員）
54人
防災ワークショップ「非常時に役立つ！「紙食器」作り＆牛乳パックDEホイッスル！」
10月14日
会　場　展示説明室
協　力　名古屋市港防災センター

179 人

起震車がやってくる

10 月 14 日

会　場　博物館駐車場

協　力　名古屋市瑞穂消防署

＊雨天のため中止

放水訓練体験

10 月 14 日

会　場　博物館庭園付近

協　力　汐路消防団

200 人

防災クイズラリー

会期中

会　場　特別展示室

協　力　名古屋市港防災センター

連続講座

9 月 23 日「伊勢湾台風」　79 人

10 月 19 日「江戸時代の治水」　36 人

11 月 3 日「転換期の震災」　48 人

鈴木雅（学芸員）　計 163 人

共催事業

被災資料安定化処理ワークショップ（愛知県博物館協会部門別研修会）

9 月 21 日（土）

講　師　浅川崇典氏(陸前高田市立博物館学芸員)

実技 17 人、見学 2 人

計 19 人

伊勢湾台風 60 年事業寄附金

伊勢湾台風 60 年にあたり、伊勢湾台風による被害を伝えるための展覧会の開催等のため、寄附金を募った。

実施事業　展覧会の開催、作文集の刊行など

寄附実績　31 件 3,459,699 円

寄附者（公開に同意の方のみ、受付順、敬称略）

竹内敏彌、葵美術グループ 上田敬子、矢作建設工業株式会社 取締役社長 髙柳充広、森松株式会社 代表取締役 森直樹、伊藤真寿美、石井信子、山住啓三、安藤洋子

3　共　催　展

(1) 特別展「挑む浮世絵　国芳から芳年へ」

会　　期　平成 31 年 2 月 23 日～4 月 7 日（開室日数 36 日）

会　　場　特別展示室・部門展示室

主　　催　名古屋市博物館、中日新聞社、東海テレビ放送

協　　賛　野崎印刷紙業

観 覧 料　一　般　1,300 円　高大生　900 円　小中生　500 円

観覧者数　8,563 人（4 月 1 日から 4 月 7 日まで）42,125 人(通期)

展示意図　幕末の浮世絵師歌川国芳の武者絵を中心としながら、月岡芳年ら弟子たちの作品にもスポットを当てた。そして幕末から明治にかけ、国芳の個性がどのように継承され、変化していったのかを、尾崎久弥、高木繁のコレクションなど当館が所蔵する浮世絵によって紹介。全国 4 会場を巡回。

展示件数　152 件 285 点

印 刷 物　図録 B5 変形判、ポスターB1･B2･B3 判、先行チラシ A4 判、チラシ A4 判、A3 判二ツ折、観覧券、広告用割引券、開会式招待状、出品目録

関連事業

講演会

2 月 24 日「国芳と芳年の快感」

講　師　神谷浩（副館長）　220 人

博物館寄席

3 月 2 日

講談師　旭堂鱗林氏、落語家 雷門幸福氏

220 人

博物館夜学　怪の集い

3 月 3 日 100 人・21 日 100 人

津田卓子（学芸員）　計 200 人

展示説明会

3 月 8 日 100 人・16 日 136 人

津田卓子（学芸員）　計 236 人

(2) 特別展「スヌーピーミュージアム展」

会　　期　6 月 22 日～9 月 1 日

（開室日数 60 日）

会　　場　特別展示室・部門展示室

主　　催　名古屋市博物館、中日新聞社、東海テレビ放送

協　　賛　アイシン・エィ・ダブリュ

企画制作　スヌーピーミュージアム、シュルツ美術館

協　　力　Charles M. Schulz Creative Associates、 Peanuts Worldwide LLC、ソニー・クリエイティブプロダクツ、近畿日本鉄道

観 覧 料　一　般　1,300 円　　高大生　900 円　小中生　500 円

観覧者数　177,487 人

展示意図　　作者チャールズ・M・シュルツが約 50 年にわたって描き続けた新聞連載コミック「ピーナッツ」。アメリカ・サンタローザのシュルツ美術館の貴重な原画作品やスケッチ、ヴィンテージグッズなどを通じて、コミックに登場するスヌーピーと個性豊かな仲間たちと、そこに表出した 20 世紀後半のアメリカの文化を紹介した。

展示件数　209 件 209 点

印 刷 物　図録 A5 判、ポスターB1･B2･B3 判、チラシ A3 判二ツ折、こどもチラシ A4 判二ツ折、観覧券、開会式招待状、広報用しおり

関連事業

展示説明会

7 月 13 日 97 人・8 月 13 日 59 人

加藤和俊（学芸員）　　計 156 人

ノベルティ配布

スヌーピーのお誕生日(8 月 10 日)

配布 6,500 個・うち当日入場者 5,640 人

(3) 特別展「発掘された日本列島 2019」・地域展「尾張の城と城下町―三英傑の城づくり・町づくり―」

会　　期　11 月 16 日～12 月 28 日

（開室日数 35 日）

会　　場　特別展示室・部門展示室

主　　催　文化庁、名古屋市博物館、中日新聞社、全国新聞社事業協議会、名古屋市教育委員会、愛知県教育委員会、（公財）愛知県教育・スポーツ振興財団

協　　力　全国公立埋蔵文化財センター連絡協会、全国埋蔵文化財法人連絡協議会、（公財）元興寺文化財研究所、共同通信社

後　　援　全国史跡整備市町村協議会

観 覧 料　一　般 1,000 円　高大生　600 円　中学生以下無料

観覧者数　8,938 人

展示意図　全国で行われている埋蔵文化財発掘調査の成果から、近年成果がまとまった注目の 12 遺跡や、東日本大震災被災地の埋蔵文化財を紹介し、さらに史跡名勝天然記念物保護に関する展示を行った。地域展では「三英傑」と称される信長・秀吉・家康が関わった尾張地域の城から、城づくり・町づくりの様子を最近の発掘成果も含めて紹介し、戦国時代から江戸時代への移り変わりを通観した。

展示件数　106 件 1,338 点

印 刷 物　展示ガイドブック B5 判、ポスターB2･B3 判、チラシ A3 判二ツ折、観覧券、開会式招待状、出品目録、スタンプラリー用紙

関連事業

記念講演会

11 月 16 日「発掘された日本列島 2019」展の見どころについて

講　師 斉藤慶吏氏（文化庁文化財調査官）　84 人

連続講座

① 11 月 24 日「織田信長の城づくり・町づくり 小牧山城とその城下町」　132 人

② 12 月 14 日「豊臣秀吉の城づくり・町づくり 清須城とその城下町」　134 人

③ 12 月 15 日「徳川家康の城づくり 名古屋城とその武家屋敷」　103 人

④ 12 月 21 日「徳川家康の町づくり 名古屋城

下町」　114 人

①～③ 鈴木正貴氏(愛知県埋蔵文化財センター) ④岡村弘子（学芸員）計 483 人

考古学セミナー「あいちの考古学 2019」

12 月 7 日・8 日　詳細は 14 頁参照

(4) 特別展「やなせたかし生誕 100 周年記念　やなせたかしとアンパンマン展」

会　　期　令和 2 年 1 月 25 日～3 月 29 日(予定)（開室日数 54 日）

(※変更後　令和 2 年 1 月 25 日～2 月 28 日)（開室日数29日）

会　　場　特別展示室・部門展示室

主　　催　名古屋市博物館、中京テレビ放送

協　　賛　フジパングループ本社株式会社

協　　力　(公財)やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団、やなせスタジオ、フレーベル館、名古屋アンパンマンこどもミュージアム&パーク

観 覧 料　一　般　1,300 円　高大生　900 円　中学生以下無料

観覧者数　23,989 人（2 月 28 日まで）

展示意図　やなせたかしの生誕100周年を記念し､やなせの多彩な創作活動の歩みを、アンパンマンなど代表作の絵本原画やタブロー画、創作活動の原点とも言える漫画や、雑誌『詩とメルヘン』の表紙原画などから紹介。大人から子どもまで楽しめる展覧会を目指した。

展示件数　160 件 200 点

印 刷 物　ポスターB1･B2･B3 判、先行チラシ A4 判、チラシ A4 判、観覧券、広告用しおり、開会式招待状

関連事業

講演会

1 月 25 日「老いドル・やなせたかしの生き方と作品世界」

講　師　仙波美由記氏（(公財)やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団学芸員）

72 人

絵本朗読会

3 月 11・12 日

朗　読　中京テレビ放送アナウンサー

※中止

展示説明会

3 月 14 日　藤田紗樹（学芸員）　※中止

アンパンマンがあそびにくるよ！

会期中毎週日曜日

会　場　1 階ロビー

※6 回で中止

4　イキイキ博物館

(1) ワークショップまつり

日　時　7 月 27 日・28 日　10 時～15 時

場　所　常設展示室内

概　要　博物館ボランティアにより、4 つのワークショップを開催。

石器体験	366 人
埴輪パズル&クイズ	324 人
組紐作り	69 人
風呂敷	218 人
	計 977 人

(2) ナイトミュージアム

「月のれきしツアー」

日　時　8 月 4 日　18 時 30 分～20 時

場　所　常設展示室（入場無料）

概　要　昭和 44 年のアポロの月面着陸から江戸時代の天文学、平安時代『竹取物語』、2000 年前の月など､月を切り口とした歴史を、ツアーガイド方式で案内した。天文を専門とする学芸員による説明、名古屋市科学館からの映像提供など科学館との連携を図った。また関連展示として、話題のコーナー「月への好奇心 江戸の天文学」を展示した。

715 人

このほか、プロムナード、駐車場にて瑞穂通商店街による「はくぶつかん茶屋」、博物館地域連合会企画の和太鼓演奏などが行われた。

(3) はくぶつかん古書市

日　時　12 月 7 日～12 月 15 日
　　9 時 30 分～17 時
会　場　展示説明室前
概　要　　郷土史・歴史書の古書販売を、名古屋古書組合の協力により実施した。

(4) 名市探偵～まろいぬの帰還～

日　時　9 月 7 日・8 日　10 時～16 時
会　場　展示説明室、常設展示室
参加費　一部有料（常設展示室入室の場合）
概　要　　名古屋市立大学博物館サポーターMARO によるワークショップ等のイベント。MARO のキャラクター「まろいぬ」と一緒に、資料にまつわるクイズを解いたり、ミニゲームに挑戦したりしながら探索することで、参加者に歴史を学んでもらうことを意図した。

795 人

(5) 歴史まつり 2020～令和のときあるき～

日　時　令和 2 年 2 月 15 日・16 日
　　10 時～15 時 30 分
会　場　常設展示室、エントランスホール
参加費　一部有料（常設展示室入室の場合）
概　要　　名古屋市立大学博物館サポーターMARO による、貝合わせや掛け軸マスコットなど、歴史や文化財を題材としたワークショップ、クイズ、ゲーム等のイベント。常設展示室をまわるスタンプラリーなどで色々な体験ができるようにした。

489 人

Ⅱ　教 育・普 及

1　広　報

各展覧会に関するプレスリリースやポスター・チラシの配布を幅広く行うとともに、当館の取り組み全般について、ウェブサイトや facebook を活用した直接的な情報発信を積極的に行った。

ウェブサイトアクセス件数　857,936 件

2　団　体　観　覧

団体観覧は、小中高校生による常設展「尾張の歴史」や企画展等の見学と、小学校 3 年生の「くらしのうつりかわり」・「くらし体験学習室」の見学が主なものである。平成 14 年度から総合的な学習の時間が設けられ、少人数のグループでの課題をもった「調べ学習」を目的とした来館(60 校 1,346 人※1 校中止)が主流となっている。

3　教　育　活　動

博物館に親しむとともに、個人の歴史学習意欲の充実を促す目的で教育活動を展開した。本年度で 17 年目となった「出前歴史セミナー」、「歴史体験セミナー」に加え、児童生徒の常設展見学に資するため「歴史に親しむ事業」として、「くらしのうつりかわり」事業を後継する事業について検討した。「くらし体験学習室」は平成 14 年度から形を変えつつ充実してきた事業である。本年度はギャラリー第 7 室で行い、常設展示室で行った「くらしのうつりかわり」とあわせて、小学生の実物資料による体験学習効果を促進した。

(1) 出前歴史セミナー

教育委員会と博物館、美術館、科学館等が行っている「その道の達人派遣事業 出前ミュージアム」の一環として実施した事業である。学芸員が小中学校に出向き、実物資料を用いて説明する出前授業である。

「学区の遺跡博士になろう」

3 校（8 学級 182 人）

「名古屋のまつりとからくり人形」

3 校（9 学級 324 人）

「合戦における火縄銃」

9 校（21 学級 670 人）

「東大寺に行くナラ」

10 校（22 学級 694 人）

計 25 校（60 学級 1,870 人）

(2) 歴史体験セミナー

おもに小中学生を対象に、学校休業日（土・日）や夏休みや冬休みに博物館を利用してもらうために、楽しみながら学べるプログラムを用意する。

「むかしのおもちゃで遊ぼう！」

けん玉・人形など、少し昔のおもちゃで自由に遊べる体験コーナーを設置。

7 月 17 日～9 月 1 日　7,568 人

「自分だけのまが玉づくり」

加工しやすい石（滑石）を使ってまが玉を作るイベントを開催。

8 月 24 日・25 日　204 人

「おいしく作ろう　おこしもん」

ひな祭りにゆかりのある菓子「おこしもん」を作るイベントを開催。

令和 2 年 2 月 22 日　103 人

「お正月のおもちゃで遊ぼう」

双六や福笑い、カルタなどお正月に多く見られたおもちゃで自由に遊べる体験コーナーを設置。

12 月 10 日～令和 2 年 1 月 5 日　3,528 人

計 11,403 人

(3) 歴史に親しむ事業

名古屋市立小中学校の社会科担当教員の協力を得て、小中学生が博物館の展示を見学して効果的に学習できるように、考慮すべき点や館蔵資料の魅力の伝え方、学習方法について意見を交わした。

本年度は特に、学習指導要領改定に伴い「くらしのうつりかわり」事業を後継する事業について検討した。展示や体験の概要、見学時間や流れについて意見を得ることで、新規事業の枠組みを作

ることができた。

(4) くらし体験学習室

小学校3年生社会科の「昔の道具とくらし」の学習課程にあわせ、昔の道具に触れ、くらしを体験的に学習できる「くらし体験学習室」を開室した。学校利用のない土曜・日曜・祝日は広く市民の利用に供した。

期　　間　令和2年1月4日～3月1日（予定）
(※変更後　令和2年1月4日～2月27日)
団体利用　（平日）　午前9時30分～
午後2時45分
計 26日　16,233人(229校)
※17校中止
一般利用　（土・日・祝）　午前9時30分～
午後4時30分
計 19日　4,827人
計 21,060人（引率者776名を含む）

(5) 職場体験・職場訪問の受け入れ

中学生・高校生の職場体験・職場訪問の受け入れを行った。

職場体験：11校39人、職場訪問：8校69人
※職場訪問1校中止

(6) 博物館実習生の受け入れ

大学における博物館関係科目専攻者・学芸員資格取得予定者の受け入れを行った。

期　間　8月22日～8月26日
計5日間　17校26人

(7) はくぶつかん講座

聴講無料

第1回 6月1日　「中近世の石造物」
学芸員　西澤光希 73人
第2回 8月10日　「有松・鳴海絞りアフリカへ行く」
学芸員　佐野尚子 60人
第3回 9月7日　「源氏物語絵巻 桐壺」
学芸員　藤田紗樹 120人
第4回 11月2日　「大口周魚とその周辺」
学芸員　星子桃子　37人
第5回 11月30日　「石槍をつくる」
学芸員　川合　剛　45人
第6回 令和2年1月11日　「秀吉の朝鮮出兵(文禄の役)と尾張」
学芸員　羽柴亜弥 141人
第7回 令和2年2月8日　「潟の文化」
学芸員　長谷川洋一 60人
第8回 令和2年2月29日　「有松絞と浮世絵」
学芸員　津田卓子 ※中止
計　536人

(8) 派遣依頼対応

他の研究機関、自治体及び団体等で実施される講演会等について、依頼に基づき当館学芸員を派遣した。　24件

4　出 版 物

「名古屋市博物館だより」（年2回発行）
No.228～229 A4変形判 6頁 3,800部（無料）
「名古屋市博物館年報」No.42（平成30年度）
名古屋市博物館ウェブサイトに掲載
「名古屋市博物館研究紀要」第43巻
A4判 80頁 700部 （有料）
「年間行事予定」　A3判 40,000枚　（無料）
猿猴庵の本 第26回刊行『安永洪水図』
A4判 70頁　1,500部（有料）
（展覧会に関する印刷物は展示の項に記載）

5　友 の 会

令和元年度の正会員数は 156 人、家族会員 17 人、総計173人である。

年度を通して、役員会を5回開催し、会員の中から選出された役員（会長1人、副会長2人、理事2人、会計1人、監事1人）と共に、博物館側から、役員2人を充てて、今後の運営についての意見を交換した。

本年度は、昨年度から引き続き、自主的かつ持続可能な体制を具体的に構築すべく、役員会で検討を進めた。

また、年5回、特別展・企画展に合わせ「広報モニター会」を開催。会員を無料招待し（同伴者

1 人まで団体料金で参加可）、展覧会のモニターとして会員から意見を集約する場を設けた。

令和 2 年 3 月 1 日に総会を開催し、事業報告と決算報告を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。規約に則り、役員会を以て総会に代えた。

館外見学会

（1）5 月 18 日「奈良の歴史に触れる旅」
見学場所　薬師寺、唐招提寺
参加人数 36 人

（2）10 月 31 日「古代の風を感じる旅」
見学場所　熱田神宮、断夫山古墳、しだみ古墳群ミュージアム
参加人数 36 人

広報モニター会

企画展　「書で集う」　4 月 29 日　21 人
特別展　「スヌーピーミュージアム展」
6 月 26 日　30 人
特別展　「治水・震災・伊勢湾台風」
10 月 2 日　18 人
特別展　「発掘された日本列島 2019」
地域展　「尾張の城と城下町」
11 月 17 日　26 人（1 人）
特別展　「やなせたかしとアンパンマン展」
1 月 29 日　21 人（1 人）
＊（　）内は会員の同伴者

6　共催の教育・普及事業

考古学セミナー「あいちの考古学 2019」

12 月 7 日・8 日

愛知県埋蔵文化財センターと共催で、愛知県内の考古学の調査・研究の成果を紹介した。戦国時代から近世初め頃の城下町に見られる金・銀・銅などでつくられた製品や加工技術をメインテーマとし、国立科学博物館 研究主幹の沓名貴彦氏による基調講演「城下町を彩った金・銀・銅」が行われた。併せて「多気北畠氏遺跡」「岐阜市鷺山遺跡群」「清洲城下町遺跡」の 3 本の基調報告があり、発表者をパネラーに迎えたシンポジウムが開かれた。そのほか、県内の考古学関係者によるプレゼンテーション、ポスターセッションも行われた。

参加者 12 月 7 日 197 人・8 日 169 人
計 366 人

7　大学パートナーシップ

大学生に博物館の楽しさ素晴らしさを知ってもらうため、平成 22 年 4 月 1 日より大学パートナーシップ事業を始めた。学生証の提示により展覧会を観覧することができたり、展覧会に合わせて実施される展示説明会に加盟大学の枠を設けたりするなど、大学等と博物館の連携をはかった。

13 法人 20 大学:名古屋市立大学、学校法人菊武学園（名古屋産業大学・名古屋経営短期大学・菊武ビジネス専門学校・専門学校名古屋ウェディング＆フラワー・ビューティ学院）、名古屋大学、南山大学、愛知大学、愛知淑徳大学、名古屋学院大学、中京大学、学校法人愛知学院大学、学校法人中西学園(名古屋外国語大学、名古屋学芸大学、名古屋ファッション専門学校、名古屋栄養専門学校、名古屋製菓専門学校)、豊田工業大学、金城学院大学、椙山女学園大学

利用者数 8,175 人

Ⅲ　資　　料

1　調　査

(1) 資料情報

令和元年度に市内外から寄せられた資料に関する情報は、下表のように計 133 件であった。平成 30 年度から 28 件増加した。全体的に、民俗・文書典籍分野の近現代生活資料に関する情報が多いのは従来からの傾向だが、本年度は、「伊勢湾台風 60 年事業」として伊勢湾台風に関する資料の情報を広く募集し、「特別展 治水・震災・伊勢湾台風」も開催したため、それに関する情報が市内から多数寄せられた。昨年度からの情報増加分は、ほぼこの伊勢湾台風関連の情報である。当時の記録や写真アルバム等の資料はもちろん、被災した記憶の聞き取り作業などにも大きな成果があった。

資料情報件数		件　数
地域別	市　　内	94 件
	市　　外	37 件
	不　　明	2 件
分野別（重複含）	考　　古	5 件
	美術工芸	38 件
	文書典籍	35 件
	民　　俗	58 件
	計	133 件

(2) 調査研究

「秀吉研究の推進」平成 24 年度から

この研究の目的は、全国に多数存在する豊臣秀吉の文書の情報を集積し、編年により翻刻掲載した『豊臣秀吉文書集』を刊行することにある。平成 25 年度には当該分野の研究者による同文書集の編集委員会を発足させ、平成 26 年度 1 月に第 1 巻を発刊した。

本年度は第 6 巻の発刊および第 7 巻の編集作業に関して計 4 回の編集会議を行い、文禄 2 年から慶長 3 年までの発給文書の編年を検討した。また、一部の委員による集中審議を 2 回行った。

さらに、全国の研究施設・博物館へ情報提供依頼を行ったほか、東京大学史料編纂所などでの調査を行い、文書情報の収集につとめた。

2　収　集

(1) 資料収集方針

考古・美術工芸・文書典籍・民俗各分野において基本方針と目標を定め資料の収集を行った。

ア　考古分野

〔基本方針〕

名古屋を中心とする地域の考古に関する資料

日本考古学上基準となる資料

〔目標〕

○名古屋を中心とする地域の個人コレクションの収集

○各時代・時期に当地域が属した「文化圏」内で出土したことが明らかな資料の収集

○出土地域に関わらず、以下の諸点において、当地域との関連が深いと認められる資料の収集

・資料自体が当地方の生産品であることが明らかな資料

・資料自体が当地方の属した「文化圏」の影響を受けている、あるいは当地方の属した「文化圏」に影響を及ぼしていることが明らかな資料

イ　美術工芸分野

〔基本方針〕

名古屋を中心とする地域の美術工芸に関する資料

日本美術全体の流れの上で基準となる資料

〔目標〕

○名古屋を中心とする地域の画家および俳人の書画の収集

○同上地域の武将の肖像画や合戦図などに関連する資料の収集

○同上地域の武器・武具の収集

○同上地域の寺社で保有する文化財の一括収集

○陶磁器・金工・七宝・漆工芸・染織については、年紀銘、作者銘を有するもの、時代様式を端的に備えるもの等、基準資料たりえるものの収集

○彫刻については、全国レベルでみての重要資料の収集

○著名なコレクションで散逸の恐れがある資料の収集

ウ　文書典籍分野

〔基本方針〕

名古屋を中心とする地域の歴史に関する資料

日本史全体の流れの上で基準となる資料

〔目標〕

○尾張の町方・村方文書など、一括資料の収集（尾張以外の尾張藩領を含む）

○尾張関係の典籍の収集（尾張の出版物・尾張に関する人物の著作など）

○名古屋市街図・地籍図の収集（尾張以外の尾張藩領の図を含み、広域図の場合は優品で価値の高い資料）

○尾張に関する文書・記録、および尾張に関係する人物の文書・記録などの収集

○尾張に所在した歴史的価値が高い資料の収集

○地域にこだわらず、古文書学上、基準的様式を具備する各時代の基本的文書の収集

○地域にこだわらず、書誌学上、重要な典籍類の収集（代表的な出版物・写本など）

○著名なコレクションで散逸の恐れがある資料の収集

エ　民俗分野

〔基本方針〕

名古屋を中心とする地域の民俗に関する資料

日本民俗全体の上で基準となる資料

〔目標〕

○名古屋を中心とする地域の民俗芸能用具ならびに儀礼・信仰関係用具の収集

○民俗事象を表す写真・映像・音源などの収集

○地域的な特色を示す衣・食・住に関する資料の積極的な収集

○名古屋を中心とする地域の災害関係資料の収集

○商業に関する資料の体系的な収集

○機械化されていない諸職用具の収集（製品見本、製作工程見本の製作依頼を含む）

○農具・養蚕具・製紙用具・亜炭採掘用具・漁具については館蔵品の補完的収集

○絞りについては、海外のものも含む重点的な収集

○名古屋を中心とする地域の遊戯具・玩具・食玩の収集（製作依頼を含む）

○明治以降の産業資料のうち、時計、バイオリン、企業が製造した製造機械の収集

(2) 収集資料の概要

本年度は、受贈と購入により、237 件 2,977 点の資料を収集した。これにより収集資料の累計は、24,447 件 273,726 点 となった。

また新たに 24 件 1,910 点を受託し、旧来の 11 件 12 点を解除した結果、14,389 件 49,633 点となった。

ア 考古分野

考古分野では 23 件 1,229 点の資料を受贈した。

高蔵 1 号墳出土資料・高蔵遺跡出土資料は、名古屋大学考古学研究室による発掘調査の出土資料である。うち高蔵 1 号墳は、熱田区に所在する高蔵古墳群のうちの一基で、横穴式石室を持ち多様で豊富な副葬品が特徴である。また隣接する高蔵遺跡は、弥生時代の熱田台地上最大規模の集落遺跡として著名である。今回寄贈をうけた資料は、いずれも当該期の名古屋市域を語るうえで極めて重要な資料であり、常設展示にすぐに活用できるものである。

分類番号 110 のうち菅田遺跡出土資料、また分類番号 120～122 までの 17 件は、いずれも同じ石器を中心としたコレクションの寄贈である。特に春日井市上八田遺跡・梅ヶ坪南遺跡、名古屋市北沢遺跡出土資料は旧石器時代のナイフ形石器が含まれており、常設展で展示のため長期借用としてきたものである。

この他、分類番号 115 の広口壺は完形の渥美窯製で、昭和 52 年の当館開館記念展「東海の古陶」に出品された資料であった。渥美窯初期の製品と思われ、操業時期の限られる同窯製品の、名古屋市内における貴重な出土例といえよう。

イ 美術工芸分野

美術工芸分野では 55 件 68 点の資料を受贈した。

当地域に関連する資料としては、名古屋出身の南画家中林竹洞とその息子竹溪による下絵や模本を受贈した。尾張画壇を代表する画家の研鑽に

励む姿を示す好資料である。

明治期に活躍した浮世絵師・月岡芳年が手がけた「月百姿」シリーズ4点を受贈した。すでに所蔵し、特別展「国芳から芳年へ」においても出品資料として活用している尾崎コレクション4点に加わるものである。

市内個人より刀剣・古式銃・刀装具など 39 件 44 点に及ぶコレクションを受贈した。6 挺受贈した古式銃は多くが堺などで生産された装飾火縄銃であり、当館の火縄銃コレクションを一気に充実させることができた。また、別の個人より名古屋を代表する刀工の一人、二代藤原信高晩年の長銘作を受贈した。

寄託品としては、登録文化財である緑区春江院の書院襖絵の一部と、あま市甚目寺の什宝を受託した。甚目寺観音資料は平成 23 年に開催した「甚目寺観音展」開催を機に国指定重要文化財となった愛染明王坐像をはじめとし、縁起・仏画・古文書など尾張地方を代表する名刹である古代寺院の歴史を物語る資料である。

ウ 文書典籍分野

文書典籍分野では、35 件 187 点の資料を受贈した。また、美術品等取得基金所管の動産から 2 件 2 点を購入（移管）した。

美術品等取得基金では新たに国認定重要美術品である豊臣秀吉書状を購入した。側室の一人、おとら（蒲生氏郷妹、三条殿）に宛てた書状で、病気を気遣い、行楽へ誘うものである。秀吉の家族関係を窺う好資料で活用が期待される。基金ではこのほか名古屋城下の文化を知る上での重要資料である猿猴庵日記、余延年宛月僊書簡、蓬瀛勝会を購入した。

受贈資料のうち、川村家資料は、歌川広重の浮世絵に描かれる有松絞りの商家、河村弥平店の資料である。江戸時代から近代にかけての営業記録やデザイン画に加え、名古屋に編入される以前の有松町の記録や家族の生活道具などが含まれる。

また、「特別展 治水・震災・伊勢湾台風」展開催にともない、伊勢湾台風関係の記録を多く受贈した。山田芳写真資料は、アマチュアカメラマンである山田氏が昭和 30 年代頃の様子を撮影したものである。伊勢湾台風やお祭り、街頭の風景や家族写真などの内容で、当時としては珍しいカラー写真を多く含む。昭和をさまざまに物語る資料として貴重である。

エ 民俗分野

民俗分野では 121 件 1,490 点の資料を受贈した。

民俗資料は、家の建て替えや整理の際に出てきた生活道具について、館蔵資料にないものを中心に受贈した。

近年の収集では、戦前のものが少なくなりつつあり、戦後から高度経済成長のころ、さらには平成にかかる資料も含まれるようになってきた。たとえば「近藤克久氏収集郷土玩具コレクション」は土産物色の強い比較的新しい玩具のコレクションである。当館ではすでに明治から戦前を中心に集められた郷土玩具コレクションがあるが、今回収蔵したコレクションと比較することにより、社会が大きく変化した様子を見ることができるだろう。急速な生活様式の変化を捉えるうえでも今後さらにさまざまな資料の収集が必要となると思われる。

また、本年度に行なった「特別展 治水・震災・伊勢湾台風」展により、伊勢湾台風関係の資料を多く受贈することができた。資料の多くは写真であるが、警察署など公的機関が記録として撮ったものや、個人が自分の家の周りを撮ったアルバムもあり、災害をさまざまな視点で見るための貴重な資料となるであろう。資料の収集とともに当時の体験の聞き書きをしており、これについても今後継続する。

昨年度に引き続き、脇田雅彦氏・節子氏が全国各地で収集した自然繊維を素材とした「脇田夫妻収集民俗資料コレクション」も受贈した。

(3) 「よみがえれ文化財」事業

当館が所蔵する資料の中には、劣化などのため、そのままでは展示・活用できない資料がある。そうした資料を後世に伝え、活用していくための修復などを目的として基金をつくり、市民の寄附を募り、事業を行った。

○対象とする主な事業

・博物館資料（写真資料等）のデジタル化

・博物館資料（金属等）の保存処理

・博物館資料（絵画・文書等）の修復

・博物館資料（刀剣等）の研ぎ

・博物館資料の展示具の製作

上記のほか、資料の修復・保存・活用などを目的とする。

○本年度に実施した事業

・竹村文男写真資料 フィルムの保存処理、デジタル化

・35mm 可燃性オープンリールフィルム「昭和２年の名古屋」デジタル化

○本年度寄附実績

16 件　395,005 円

○寄附者（公開に同意の方のみ、受付順、敬称略）

福島 佐千男（ほか 15 名）

【令和元年度名古屋市博物館資料収集状況】

	平成 31.4.1 ～ 令和 2.3.31						総合計（令和 2.3.31 現在）					
	受　贈		購　入		計		受　贈		購　入		計	
	件	点	件	点	件	点	件	点	件	点	件	点
0 総集	1	1	－	－	1	1	56	124	156	206	212	330
1 考古	23	1,229	－	－	23	1,229	2,890	123,003	283	1,717	3,173	124,720
2 絵画 3 彫刻 4 工芸	55	68	－	－	55	68	2,395	14,233	875	1,312	3,270	15,545
5 文献	35	187	2*	2*	37	189	7,193	67,631	2,037	18,261	9,230	85,892
6 生活 7 生産 8 民族	121	1,490	－	－	121	1,490	8,263	45,895	270	1,216	8,533	47,111
9 自然	－	－	－	－	－	－	29	128	－	－	29	128
計	235	2,975	2	2	237	2,977	20,826	251,014	3,621	22,712	24,447	273,726

*基金からの買い戻し（基金による購入資料は買い戻して移管したときに計上する。）

3　特 別 利 用

	熟覧	模写	模造	拓本	原板使用			撮　影			合計
					(1)	(2)	小 計	(1)	(2)	小 計	
利用申請件数	31 件	2 件	1 件	0 件	139 件	20 件	159 件	3 件	1 件	4 件	201 件
資料件点数	96 件 336 点	10 件 10 点	1 件 1 点	0 件 0 点	248 件 257 点	33 件 54 点	281 件 311 点	3 件 7 点	1 件 1 点	4 件 8 点	392 件 666 点

(1)出版物、テレビ放送などへの掲載(使用)目的　　(2)調査研究目的

4　資料の貸出

貸出期間	貸出先(会場)	貸出目的(展覧会名・会期)	おもな貸出資料
4 月 1 日～ 令和 2 年 3 月 31 日	名古屋市見晴台考古資料館	常設展 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日	銅鐸形土製品(複製) 1 件 1 点
4 月 1 日～ 令和 2 年 3 月 31 日	美濃加茂市民ミュージアム	常設展 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日	二ツ塚遺跡出土資料のうち石匙 はじめ 11 件 43 点

4月1日～ 令和2年3月31日	名古屋市文化財保護室（体感！しだみ古墳群ミュージアム）	しだみ古墳ミュージアム常設展示 4月1日～令和2年3月31日	白鳥第1号墳出土資料 はじめ7件14点
4月1日 ～6月30日	三重県立美術館	没後200年記念 増山雪斎展 4月20日～6月16日	孔雀図 1件1点
4月8日 ～6月29日	滋賀県立安土城考古博物館	安土―信長の城と城下町―	信長公記 首巻 はじめ2件2点（寄託品）
①4月9日 ～5月29日 ②11月11日 ～12月25日	中日新聞名古屋本社 ①広島会場 （広島県立美術館） ②福岡会場 （福岡市博物館）	挑む浮世絵 国芳から芳年へ ①4月13日～5月26日 ②11月16日～12月22日	通俗水滸伝豪傑百八人之一人 花和尚魯知深初名魯達 はじめ152件285点
4月15日 ～6月16日	仙台市博物館	いつだって猫展 4月19日～6月9日	『和漢三才図会』巻38 はじめ7件7点
6月20日 ～9月27日	徳川美術館・名古屋市蓬左文庫	合戦図―もののふたちの勇姿を描く―	長篠合戦図屏風 はじめ4件5点
6月20日 ～10月11日	西尾市岩瀬文庫	考古遺物の美と謎 7月6日～10月6日	浅鉢（八王子貝塚出土） 1件1点
7月5日 ～9月20日	田原市博物館	浮世絵展～物語と風景とこわーい絵～ 7月20日～9月8日	江戸の花名勝絵 はじめ10件21点
7月22日 ～9月15日	あま市七宝焼アートヴィレッジ	七宝に描かれた風景 7月27日～9月8日	嵐山筏の図七宝額 1件1点（寄託品）
8月1日 ～11月30日	サントリー美術館	美濃の茶陶 9月4日～11月10日	織部葛屋形向付 1件5点
8月6日 ～11月29日	福岡市博物館	侍 もののふの美の系譜 9月7日～11月4日	金小札紅中萌黄糸威腹巻 1件1点
8月10日 ～12月15日	岡崎市美術博物館	鶴田卓池と三河の俳諧 9月28日～11月10日	『冬の日』 はじめ4件6点
8月17日 ～12月2日	東京都江戸東京博物館	士SAMURAI―都市江戸の風景― 9月14日～11月4日	勝海舟一族写真 はじめ2件7点
8月20日 ～11月9日	柿衞文庫	蕪村の手紙 9月7日～10月20日	与謝蕪村書状 1件1点
9月1日 ～12月28日	滋賀県立安土城考古博物館	動物たちと生きる 10月12日～11月24日	荼枳尼天図 はじめ3件4点(寄託品含)
9月20日 ～12月10日	大阪城天守閣	豊臣外交 10月12日～11月17日	花樹鳥獣蒔絵螺鈿聖龕 1件1点
9月25日 ～12月25日	みよし市立歴史民俗資料館	太古のロマンを求めて 10月19日～12月15日	有舌尖頭器 はじめ5件6点
10月10日 ～11月26日	犬山城白帝文庫	付家老のお仕事 10月17日～11月19日	成瀬正虎書状 はじめ3件3点
10月12日～ 令和2年1月15日	愛知県陶磁美術館	愛知やきものセレクション 11月2日～12月22日	四耳壺 はじめ3件4点（寄託品含）
10月15日 ～12月26日	熊本県立美術館	熊本城と武の世界 10月26日～12月15日	太刀 無銘伝左 はじめ3件3点

10 月 16 日～ 令和 2 年 2 月 27 日	徳川美術館	良寛さん 11 月 16 日～令和 2 年 1 月 31 日	良寛和歌巻 はじめ 5 件 5 点（寄託品）
11 月 15 日 ～11 月 30 日	幸田町教育委員会 （幸田町立図書館）	菱池物語 11 月 19 日～11 月 27 日	菱池沼開墾之由来 1 件 1 点
12 月 26 日～ 令和 2 年 3 月 20 日	名古屋市文化財保護室 （体感！しだみ古墳群ミュージアム）	企画展示 松ヶ洞古墳群～庄内川流域の初期群集墳～ 令和 2 年 1 月 7 日～3 月 15 日	松ヶ洞 8 号墳出土資料 はじめ 2 件 41 点
令和 2 年 1 月 15 日～ 令和 2 年 3 月 15 日	亀岡市文化資料館	明智光秀と丹波 令和 2 年 1 月 25 日～3 月 8 日	織田信長書状 はじめ 3 件 3 点
令和 2 年 3 月 23 日 ～6 月 30 日	東京都江戸東京博物館・読売新聞東京本社	奇才―江戸絵画の冒険者たち― 令和 2 年 4 月 25 日～6 月 21 日	日月図屏風 1 件 1 点
合計	貸出先件数　27 件		貸出資料総件点数 236 件 473 点

5　収集資料目録

（1）受贈資料一覧（分類順）

分類	資料名	点数	時代
042	刀　銘　表「源清麿」 裏「嘉永三年二月日」 （偽銘）	1 口	近代
110	菅田遺跡採集石器	439 点	旧石器時代～縄文時代
110	高蔵 1 号墳出土資料	76 点	古墳時代～中世
110	高蔵遺跡出土資料	1 括	弥生時代～
110	北沢遺跡出土資料	2 点	旧石器時代～縄文時代
115	広口瓶	1 点	平安時代
115	皿（山茶碗）	1 点	平安時代
117	瓦	1 点	江戸時代
117	徳利	2 点	大正～昭和前期
120	上八田遺跡出土資料	202 点	旧石器時代～縄文時代
120	梅ヶ坪南遺跡出土資料	32 点	旧石器時代～縄文時代
120	大泉寺町出土資料	1 点	旧石器時代～縄文時代
120	明知遺跡出土資料	129 点	旧石器時代～縄文時代
120	浅山町出土資料	5 点	旧石器時代～縄文

			時代
120	篠木８丁目出土資料	4 点	旧石器時代～縄文時代
120	朝宮地区出土資料	4 点	旧石器時代～縄文時代
120	入鹿池遺跡出土資料	6 点	旧石器時代～縄文時代
120	茶臼山遺跡出土資料	1 点	旧石器時代～縄文時代
120	共栄遺跡出土資料	3 点	旧石器時代～縄文時代
120	金沢遺跡出土資料	159 点	旧石器時代～縄文時代
122	梅ヶ坪遺跡出土資料	22 点	縄文時代
122	明知北遺跡出土資料	125 点	縄文時代
122	大曽根遺跡出土資料	7 点	縄文時代
122	野中遺跡出土資料	6 点	縄文時代
243	見立東海道五拾三次 岡部 猫石の由来	3 点	江戸後期
243	源頼光公館土蜘作妖怪図	3 点	江戸後期
243	和藤内群虎討取図	3 点	江戸後期

249	中林竹洞、竹渓関係下絵・模写資料	1,022 点	江戸後期～明治
271	月百姿 烟中月	1 点	明治
271	月百姿 五條橋の月	1 点	明治
271	月百姿 玉兎 孫悟空	1 点	明治
271	月百姿 金時山の月	1 点	明治
271	阿根川大合戦之図	3 点	明治
271	月百姿 月下の斥候 斎藤利三	1 点	明治
271	月百姿 垣間見の月 かほよ	1 点	明治
271	月百姿 きよみかた空にも関のあるならば月をとゝめて三保の松原	1 点	明治
271	月百姿 稲むらか崎の明ほのゝ月	1 点	明治
271	月百姿 堅田浦の月	1 点	明治
271	月百姿 弓取の数に入るさの身となれはおしまさりけり夏夜月 明石儀太夫	1 点	明治
271	月百姿 たのしみは夕顔たなのゆふ涼 男はてゝら女はふたのして	1 点	明治
463	葵唐草文鍍金銅鈴	1 点	近代
482	刀　無銘　伝末手掻	1 口	室町時代
482	脇指　銘「宗久」	1 口	室町時代
482	刀(太刀)　銘　表「備州長船則光」　裏「明□三年二月日」	1 口	室町時代
483	刀 銘「前伯劭藤原信高入道閑遊」「延宝九辛酉十月吉祥日七十九歳作之」	1 点	江戸前期
483	薙刀　銘「越州敦賀住下総守藤原宗吉」	1 口	江戸前期
483	槍　銘「山城国文珠包重」	1 口	江戸前期
484	脇指　銘　表「小鍛冶宗次造之」裏「南都三笠山麓住」	1 口	江戸後期

485	刀　銘　表「大阪住月山貞勝謹作(花押)」裏「別格官幣社湊川神社御神宝御太刀余鉄」	1 口	昭和前期
487	虎形鐔	1 枚	江戸後期
487	茗荷小透鐔	1 枚	江戸後期
487	葵形透鐔　銘「越前住記内作」	1 枚	江戸後期
487	与四郎大小鐔	2 枚	江戸
487	菱雁透鐔	1 枚	江戸
487	蔦沢潟透鐔	1 枚	江戸
487	竹の輪形透鐔	1 枚	江戸後期
487	貝合形鐔	1 枚	江戸後期
487	轡鐙透鐔	1 枚	江戸
487	葵形透鐔　銘「越前住記内作」	1 枚	江戸後期
487	花樹透鐔　銘「武州住正方」	1 枚	江戸中期
487	銀杏形鐔	1 枚	江戸後期
487	偃月刀形透鐔　銘「武州住　正房」	1 枚	江戸後期
487	名所図小透鐔　銘「奈良鍛冶　家国」	1 枚	江戸前期
488	螺鈿槍拵	1 本	江戸後期
488	黒漆塗脇指拵	1 口	江戸後期
488	桐鳳凰図二所物(小柄・笄)	2 点 1 組	昭和後期
488	海亀図縁頭	2 点 1 組	江戸後期
488	南天図頭	1 点	江戸後期
488	水牛図目貫	2 点 1 組	江戸後期
488	菊図目貫	2 点 1 組	江戸後期
488	牛図小柄	1 点	江戸後期
488	枇杷葉図小柄	1 点	江戸後期
494	火縄銃　銘「信陽国友政次郎直舊」	1 挺	江戸
494	火縄銃　銘「鍛二重巻張　摂州住山・・・」	1 挺	江戸
494	火縄銃　無銘	1 挺	江戸
494	火縄銃　銘「摂州住嶌谷喜八郎作」	1 挺	江戸
494	火縄銃　無銘	1 挺	江戸

494	短筒　銘「肥前下田住矢六作」	1 挺	江戸
494	ランタカ砲	1 門	近代か
500	関山真一氏収集文書	一括	江戸後期～近代
501	川村家資料	1 括	江戸～近代
501	加藤増次郎家資料	1 括	明治～昭和前期
504	高尚館資料	1 括	江戸後期～昭和前期
504	知多郡大高村山口家資料Ⅱ	1 括	江戸時代後期～明治
523	本居宣長書状	1 幅	江戸後期
534	B29 空襲日誌	1 点	昭和前期
552	大東亜宣戦大詔謹解	1 点	昭和
555	年の朝	1 帖	昭和前期
555	喜春楽	1 帖	昭和前期
576	大日本地図	1 枚	明治
585	伊勢湾台風新聞切抜集	2 冊	昭和
589	アサヒグラフ	2 冊	昭和後期
589	週刊朝日	1 冊	昭和後期
589	アサヒグラフ臨時増刊伊勢湾台風惨害特報	1 冊	昭和後期
589	毎日グラフ臨時増刊伊勢湾台風特報	1 冊	昭和後期
593	山地英樹氏撮影屋根神写真資料	1 点	昭和後期
593	アルバム	2 点	明治～昭和
593	近藤昭治写真資料	146 点	昭和後期～平成
593	笠寺尋常小学校写真	2 点	昭和前期
593	山田芳写真資料	1 括	昭和後期
593	冨田家写真資料	1 括	大正～昭和後期
593	中山家写真資料	1 括	江戸後期～昭和後期
593	丹羽徳二写真資料	1 括	昭和後期
593	名古屋市街写真	1 枚	昭和後期
593	家族写真	1 括	昭和後期～平成
595	簡易保険局葉書	8 枚	近代
595	小説『青春』抜粋絵葉書	1 枚	近代
595	簡易保険局絵葉書	1 枚	近代
595	名古屋博覧会絵葉書	1 枚	昭和前期

595	姫津線全通紀念 産業振興大博覧会絵はがき	1 枚	昭和前期
597	大本山總持寺再建の話	1 冊	明治
597	曹洞宗大本山總持寺写真帖	1 冊	昭和
597	中川運河建築敷地売却御案内	1 部	昭和
598	宣伝チラシ	2 枚	近代
600	脇田夫妻収集民俗資料コレクション３	35 点	昭和～平成
600	脇田夫妻収集民俗資料コレクション４	17 点	昭和～平成
600	脇田夫妻収集民俗資料コレクション５	21 点	昭和
600	脇田夫妻収集民俗資料コレクション６	29 点	昭和
600	脇田夫妻収集民俗資料コレクション７	42 点	昭和～平成
612	モーニング	1 着	昭和後期
618	財布	1 点	昭和前期
619	火熨斗	1 点	大正～昭和前期
619	針箱	1 点	昭和前期
619	張板	2 点	昭和後期
619	鯨尺	1 点	昭和
619	小物入れ	1 点	明治～昭和前期
629	猪口	3 点	明治
631	葭戸	1 点	昭和
633	衣装箱	1 点	昭和後期
633	踏み台	1 点	昭和
635	炭入	1 点	昭和前期
635	火鉢	1 対	昭和
636	井戸車	1 点	昭和
645	土鈴	1 括	昭和後期～平成
645	木製ハーモニカ	4 点	昭和前期
645	和凧	1 点	昭和後期
645	近藤克久氏収集郷土玩具コレクション	1 括	昭和後期
646	スクラップブック	1 点	昭和初期
648	8㎜カメラ（コニカ ズーム 8）	1 点	昭和後期
649	レコード「名古屋新調	1 点	昭和

	／名古屋ぶし」		
651	明治天皇像	1 点	近代
651	八重国民学校バッジ	1 個	昭和前期
651	青年学校手帳	1 冊	昭和前期
654	ガラスペン	8 本	昭和後期
654	万年筆	2 本	昭和後期
654	パイロットインキ	2 点	昭和後期
654	ペン先	1 箱	昭和後期
659	鉤秤	1 点	明治後期～大正
662	屋根神	1 点	近代
672	雛人形	1 括	昭和前期
672	雛人形	1 組	昭和前期
684	結納飾り	1 式	昭和後期
684	袱紗	4 点	昭和前期
691	消防ポンプ	1 点	明治
693	伊勢湾台風写真集	1 冊	昭和後期
693	２つ穴コンクリートブロック	1 組	昭和後期
693	伊勢湾台風写真アルバム	1 冊	昭和後期
693	救援速報	1 枚	昭和後期
693	ポリクリ学外実習予定表	1 枚	昭和後期
693	伊勢湾台風に関する綴	1 綴	昭和後期
693	災害関係諸統計表	1 綴	昭和後期
693	名古屋市災害救助隊本部 記録簿	1 綴	昭和後期
693	名古屋防災都市建設計画図	3 枚	昭和後期
693	名古屋市伊勢湾台風被害状況図	2 枚	昭和後期
693	［感謝状につき礼状］	1 通	昭和後期
693	災害対策綴	1 綴	昭和後期
693	伊勢湾台風 中部日本災害対策会議	1 綴	昭和後期
693	伊勢湾台風 災害復旧に関する綴	1 綴	昭和後期
693	災害経費支出伺綴	1 綴	昭和後期
693	伊勢湾台風資料	1 綴	昭和後期
693	伊勢湾 災害関係綴 そのニ	1 綴	昭和後期

693	伊勢湾台風情報資料	2 綴	昭和後期
693	伊勢湾台風浸水日数別地域調	1 袋	昭和後期
693	湛水地調査	1 袋	昭和後期
693	伊勢湾台風等	1 袋	昭和後期
693	伊勢湾台風被害状況調	1 袋	昭和後期
693	伊勢湾台風資料	1 袋	昭和後期
693	伊勢湾台風情報資料	16 冊	昭和後期
693	罹災証明書	1 枚	昭和後期
693	伊勢湾台風浸水実績図	1 枚	平成
693	伊勢湾台風記録写真	1,018 点	昭和後期
693	伊勢湾台風記録写真	28 点	昭和後期
693	市民防災のしおり	1 点	昭和後期
693	名古屋防災都市建設計画図	1 点	昭和後期
693	伊勢湾台風被害写真	5 枚	昭和後期
693	伊勢湾台風被害写真	24 枚	昭和後期
693	伊勢湾台風記録アルバム	15 冊	昭和
693	伊勢湾台風記録写真	1 冊	昭和後期
693	伊勢湾台風写真アルバム	1 冊	昭和後期
693	茶だんす	1 棹	昭和後期
693	伊勢湾台風新聞切抜	2 点	昭和後期
695	官幣大社稲荷神社保衛会員証	1 枚	近代
697	盆	1 点	昭和前期
697	灰皿	1 点	昭和
697	浅野友吉宛軍事郵便	1 枚	昭和前期
697	近藤昭治出征資料	71 点	昭和前期
697	秋水燃料輸送管	1 点	昭和前期
697	記念盃	14 点	昭和後期
697	青島戦争の図	2 点	近代
697	小川英雄関係資料	8 点	近代
697	三菱重工名古屋発動機製作所バッジ	1 個	昭和前期
697	医員バッジ	1 個	昭和前期
697	罹災証明書	1 枚	昭和前期
697	現役兵証書	1 枚	昭和前期
697	補充兵証書	1 枚	昭和前期

697	ワッペン	1 枚	昭和前期
711	種蒔機	1 点	昭和
711	直播機	1 点	平成
712	株抜き鍬	1 点	昭和
712	山おこし	1 点	昭和
712	こまざら	1 点	昭和
712	田ならし備中	1 点	昭和
712	畔きり	1 点	昭和
712	鞍	3 点	昭和
712	犂	1 点	昭和
713	雁爪	1 点	昭和
714	千歯扱き	2 点	昭和
715	いも切り	2 点	昭和
715	唐箕	1 点	昭和前期
716	背負子	1 点	昭和
753	布	1 点	明治～大正

757	絞り布	1 点	昭和後期
762	茅たたき	1 点	昭和
773	硯箱	1 点	江戸時代
782	概算切符	1 枚	昭和前期
782	宣伝付 1 日乗車券	1 枚	近代
782	定期乗車券	6 枚	昭和前期
783	自転車用鑑札	1 点	昭和
783	記念切符	3 点	昭和後期
794	納額告知兼領収書	1 枚	昭和前期
794	領収証	1 枚	昭和前期
796	健康保険被保険者証	1 点	昭和前期
799	衣料切符	5 枚	昭和前期
799	罹災者用必需物資購入票	1 枚	昭和前期
799	戦災罹災世帯用衣料購入票	1 枚	昭和前期

(2) 購入資料一覧

基金動産からの移管資料

分類	資　料　名	点数	時　　代
550	御鍬祭真景図略　三	1 冊	江戸後期
550	絵本駱駝具誌	1 冊	江戸後期

（参考）美術品等取得基金購入資料

分類	資　料　名	点数	時　　代
516	豊臣秀吉書状	1 幅	桃山時代
525	余延年宛月僊書簡	1 通	江戸後期
551	蓬瀛勝会	2 冊	江戸後期
552	猿猴庵日記	5 冊	江戸後期

*収集件点数は基金動産からの移管時に計上する。

6　指定・認定文化財一覧（館蔵資料）

【国指定重要文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	絵	秋草鶉図屏風	1 双	江戸時代
2	工芸	魚波文瓶子	1 口	鎌倉時代　瀬戸灰釉
3	書	三宝絵	1 帖	平安時代　源為憲撰　保安元年(1120)書写奥書
4	工芸	太刀　銘「国泰」	1 口	鎌倉時代　肥後国延寿派国泰作
5	工芸	太刀　銘「行平作」	1 口	鎌倉時代　豊後国行平作
6	工芸	太刀　銘「雲生」	1 口	鎌倉時代　備前国宇甘派雲生作
7	工芸	黒楽茶碗「時雨」	1 口	江戸時代　本阿弥光悦作

【国認定重要美術品】

	種別	資料名	数量	時代など
1	工芸	袈裟襷文銅鐸	1 基	弥生時代　伝滋賀県出土
2	工芸	三角縁神獣鏡	1 面	古墳時代前期　奈良県都祁村白石光伝寺裏山古墳出土
3	書	広義門院所領処分状	1 幅	南北朝時代　貞和 5 年(1349)9 月 15 日付　光厳上皇筆
4	工芸	阿弥陀三尊懸仏	1 面	室町時代
5	絵	畳泉密竹図	1 幅	江戸時代後期　山本梅逸筆
6	書	千載和歌集断簡	1 幅	平安時代後期　日野切
7	考古	瓦製光背片	1 点	平安時代後期　三重県伊勢市小町経塚出土
8	工芸	太刀　銘「備前国住雲次」	1 口	鎌倉時代　備前国宇甘派雲次作
9	工芸	太刀　銘「景安」	1 口	鎌倉時代　備前国景安作
10	工芸	太刀　折返銘「吉綱」	1 口	鎌倉時代　備前国吉綱作
11	工芸	刀　無銘	1 口	鎌倉時代　伝包永
12	工芸	刀　無銘	1 口	南北朝時代　伝左
13	工芸	壺形土器　蓋有	2 点	弥生時代前期　名古屋市北区西志賀町遺跡出土
14	工芸	鳥形鈕蓋付高脚坩	1 口	古墳時代後期　伝名古屋市瑞穂区師長町出土
15	書	豊臣秀吉書状	1 幅	桃山時代　おとら宛

【愛知県指定文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	工芸	魚波文四耳壺	1 口	鎌倉時代後期　瀬戸灰釉　岐阜県出土
2	絵	四季花鳥図屏風	1 双	江戸時代後期　山本梅逸筆
3	考古	短甲	1 領	古墳時代後期　伝岡崎市出土　25 点付属
4	考古	三角縁神獣鏡・六神鏡	2 面	古墳時代前期　東海市兜山古墳出土
5	考古	壺	1 口	弥生時代中期　岩倉市大地遺跡出土
6	考古	壺	1 口	弥生時代前期　丹羽郡大口町西浦遺跡出土
7	絵	相応寺旧蔵襖絵	12 面	江戸時代初期
8	絵	築城図屏風	1 隻	安土桃山時代
9	絵	楽々園四季真景図巻	1 巻	江戸時代後期　宋紫岡筆
10	絵	山水図押絵貼屏風	1 双	江戸時代後期　中林竹洞筆
11	歴史	尾張藩領産物帳	20 冊	江戸時代中期
12	工芸	三尊来迎繍仏	1 幅	南北朝時代　弘浄寺伝来

【名古屋市指定文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	有形民俗文化財	荒子西の畑屋敷馬道具	1 式	江戸時代後期～昭和前期
2	有形民俗文化財	荒子西屋敷馬標及馬道具	1 式	明治～昭和前期
3	歴史	横井也有関係資料	128 点	江戸時代
4	工芸	裁断橋擬宝珠	4 基	江戸時代前期
5	考古	大須二子山古墳出土品	16 点	古墳時代
6	有形民俗文化財	高橋家伝来医薬器具	一括	江戸時代中期～末期
7	絵	徳川宗春戯画賛	1 幅	江戸時代中期
8	絵	伊勢参宮図屏風	1 隻	江戸時代前期

7　指定・認定文化財一覧（受託資料）

【国宝】

	種別	資料名	数量	時代など
1	書	古事記	3 帖	南北朝時代　宝生院所蔵
2	書	漢書食貨志第四	1 巻	奈良時代　宝生院所蔵

3	書	琱玉集	2巻	奈良時代　宝生院所蔵

【国指定重要文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	絵	過去現在絵因果経	1巻	平安時代　聖徳寺所蔵
2	書	七寺一切経	100帖	平安時代　七寺所蔵
		唐櫃	1合	
3	絵	騎馬武者像	1幅	室町時代　地蔵院所蔵
4	書	無住道暁筆文書	3幅	鎌倉時代　六祖偈・置文・夢想記　長母寺所蔵
5	絵	四季山水図屏風	1双	室町時代　真宗大谷派名古屋別院所蔵
6	書	樵隠悟逸墨蹟	1幅	中国元時代　友山士思宛
7	書	寸松庵色紙	3点	平安時代
8	考古	袈裟襷文銅鐸	1基	弥生時代　福井県坂井市春江町井向出土
9	絵	千手観音二十八部衆像	1幅	鎌倉時代　護国院所蔵
10	絵	聖宝像	1幅	南北朝時代　林昌院所蔵
11	工	短刀　銘了戒	1口	鎌倉時代　了戒作
12	絵	二河白道図	1幅	鎌倉時代　蓮光寺所蔵
13	彫刻	地蔵菩薩立像　像内納入品	一括	鎌倉時代　西光寺所蔵
14	彫刻	愛染明王坐像(像内に合子入愛染明王坐像を納める)	1躯	鎌倉時代 甚目寺所蔵

【国認定重要美術品】

	種別	資料名	数量	時代など
1	工芸	細形銅剣	1口	弥生時代　名古屋市守山区上志段味上島出土
2	工芸	七鈴鏡	1面	古墳時代後期　名古屋市守山区羽根古墳出土
3	工芸	経塚関係資料	8点	平安時代後期　大御堂寺所蔵
4	工芸	太刀　無銘　附拵	1口	伝来国光
5	工芸	魚形土器	1点	弥生時代後期　名古屋市南区桜田貝塚出土
6	工芸	インス茶碗	1口	江戸時代前期

【愛知県指定文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	絵	織田又六画像	1幅	安土桃山時代　善光寺別院願王寺所蔵
2	考古	壺	1口	弥生時代　北名古屋市伝馬塚出土
3	絵	花鳥図	双幅	中国画　明眼院所蔵
4	絵	花鳥図	1幅	中国画　明眼院所蔵
5	絵	風神雷神図	双幅	江戸時代　狩野常信筆　明眼院所蔵
6	絵	円窓山水図屏風	1隻	江戸時代　明眼院所蔵
7	工芸	糸枠蒔絵茶箱	1合	江戸時代　明眼院所蔵
8	工芸	茶壺	1口	中国製　14～16世紀　明眼院所蔵
9	工芸	金剛鈴杵	1口	明眼院所蔵
10	工芸	瀬戸鉄釉狛犬	1対	室町時代　伊勝八幡宮所蔵
11	絵	弁財天像	1幅	鎌倉時代　乾坤院所蔵
12	絵	諸尊集会図	1幅	鎌倉時代　乾坤院所蔵
13	書	正法眼蔵	15冊	室町時代　乾坤院所蔵
14	絵	田中訥言画蹟	3点	江戸時代後期　釈迦院所蔵　郭公の図他
15	書	『因明三十三過記』紙背文書	24通	鎌倉時代　宝生院所蔵
16	絵	円光大師画像	1幅	南北朝時代　祐福寺所蔵
17	絵	遣迎二尊画像	1幅	南北朝時代　祐福寺所蔵
18	工芸	古萩茶碗	1合	江戸時代　明眼院所蔵
19	彫刻	如来形立像	1躯	奈良時代　祐福寺所蔵
20	書	石山切	1幅	平安時代　貫之集下断簡

21	絵	渡辺崋山手録	3 冊	江戸時代後期　渡辺崋山筆

【名古屋市指定文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	工芸	梵鐘	1 口	江戸時代前期　水野太郎左衛門鋳造　性高院所蔵
2	絵	地蔵菩薩画像	1 幅	南北朝時代　地蔵寺所蔵
3	工芸	瀬戸鉄釉狛犬	1 個	室町時代　伊勝八幡宮所蔵

【他市町村指定文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	愛西市指定文化財	太刀　銘「従備前尾州来兼光…」	1 口	江戸時代　安政 3 年(1856)　鵜多須区所蔵
2	清須市指定文化財	泰亨車山車関係資料	78 点	清須市西枇杷島町東六軒町町内会所蔵
3	東郷町指定文化財	書留帳	3 冊	江戸時代　祐福寺所蔵
4	東郷町指定文化財	祐福寺縁起	2 巻	江戸時代　祐福寺所蔵
5	東郷町指定文化財	帝鑑の図	1 隻	江戸時代　祐福寺所蔵
6	東郷町指定文化財	雲版	1 口	室町時代　正長 2 年(1429)　祐福寺所蔵
7	清須市指定文化財	西枇杷島問屋町頼朝車関係資料	7 点	問屋町町内会所蔵
8	東郷町指定文化財	阿弥陀三尊来迎図	3 幅	南北朝時代　祐福寺所蔵 小三尊

Ⅳ　管理・運営

1　博物館の魅力向上

（1）事業の目的、効果

当館は開館後 40 年以上経過し、施設の機能更新の時期を迎えていることから、こうした機会を捉え、時代に即した名古屋市博物館に生まれ変わり、市民や来訪者により親しまれる名古屋市博物館となるための魅力向上に取り組んでいるところである。本年度には当館の魅力向上に向けた基礎的な調査及び検討を行った。

（2）事業の経過

令和元年 6 月 28 日

「名古屋市博物館の魅力向上調査業務委託に係る入札後資格確認型一般競争入札」を公告。

7 月 17 日

「名古屋市博物館の魅力向上調査業務委託」の契約を締結。

魅力向上調査業務委託業者

株式会社　乃村工藝社

令和 2 年 3 月 31 日

「名古屋市博物館の魅力向上調査業務委託　基礎調査・検討報告書」成果物を受領。

2　主な維持補修・施設整備

（1）トイレの洋式化及び機能向上に伴う改修

和式から洋式改修 5 箇所、洋式便座の取替 17 箇所　　計 22 箇所改修

（2）消火ポンプ取替工事

（3）博物館排水ポンプ取替工事

（4）博物館 1 階準備室シャッター取替工事

3　みんなの博物館応援基金

当館において開催する事業の充実や設備・備品更新をすることで施設の魅力をアピールするため、市民の寄附を募るとともに当館窓口で行える募金を呼びかけた。

（1）令和元年度の活用実績

公用車のリース

（2）みんなの博物館応援事業寄附金

本年度寄附実績

15 件　616,005 円

寄附者

（公開に同意の方のみ、受付順、敬称略）

名古屋瑞穂ライオンズクラブ、大口春一

（ほか 13 名）

（3）みんなの博物館応援募金

本年度募金実績　　3 件　3,000 円

分　館

Ⅰ　名古屋市蓬左文庫

1　閲　　覧

尾張徳川家の旧蔵書を中心に和漢の優れた古典籍、古地図、絵図などを所蔵する公開文庫として閲覧に供した。

閲覧日数　270 日

閲覧室総利用者数　1,568 人

閲覧冊数　1,373 件(13,541)冊

（市内 529 人 県内 370 人 県外 474 人）

参考質問　198 件

2　展　　示

尾張徳川家の伝来品等により、近世武家文化の魅力を世界に向けて発信するため、徳川美術館と連携した展示を行った。

(1) 特別展

観覧料　一　般　1,400 円　　高大生　700 円
小中生　　500 円
徳川美術館との共通料金

ア 夏季特別展「合戦図－もののふたちの勇姿を描く－」

会　　期　7 月 27 日～9 月 8 日（開室日数 39 日）
会　　場　蓬左文庫展示室、徳川美術館本館
主　　催　名古屋市蓬左文庫、徳川美術館、読売新聞社
観覧者数　28,669 人
展示意図　　合戦図は単なる記録画ではなく、武家の教育や先祖の顕彰などの目的で描かれ、それらは合戦中のエピソードに焦点を当てて物語化され、広く享受されてきた。本展では、中世絵巻から戦国合戦図を展観し、合戦図の多様性を示しながら、合戦図の果たした役割や意義をとらえなおした。
展示件数　83 件
印 刷 物　図録（250×260 ㎜）、ポスターB2 判、チラシ A4 判

イ 秋季特別展「殿さまとやきもの―尾張徳川家の名品―」

会　　期　9 月 15 日～11 月 10 日
（開室日数 48 日）
主　　催　名古屋市蓬左文庫、徳川美術館、中日新聞社、日本経済新聞社
観覧者数　34,012 人
展示意図　　1 万点にのぼる尾張徳川家伝来の大名道具のなかから、「陶磁」に焦点を絞り、文化史と陶磁史の 2 つの視座から一挙に紹介した。天下人伝来の大名物、独自の御庭焼、会席具、外国製のやきものなどを通して、その背景にある江戸時代の美意識と価値観に迫った。
会　　場　蓬左文庫展示室、徳川美術館本館
展示件数　180 件
印 刷 物　図録 A4 判、ポスターB2 判、チラシ A4 判

(2) 企画展

観覧料　一　般　400 円（1,400 円）
（イは 1,200 円）
高大生　300 円（700 円）
小中生　200 円（500 円）
（ ）は徳川美術館との共通料金

ア「雅〈みやび〉を伝える－宮廷と文化－」

会　　期　4 月 14 日～6 月 2 日（開室日数 44 日）
主　　催　名古屋市蓬左文庫、徳川美術館
入場者数　58,820 人
展示意図　　宮廷の行事や儀礼を通して育まれてきた和歌・書・香・雅楽などの伝統文化を、書跡・絵画作品・調度品・染織品などで紹介した。
展示件数　81 件

印 刷 物　ポスターB2 判、チラシ A4 判

イ「裂〈きれ〉の美」

会　　期　6 月 8 日～7 月 21 日（開室日数 38 日）
主　　催　名古屋市蓬左文庫、徳川美術館
観覧者数　22,298 人
展示意図　　金襴や緞子、更紗などの裂地は、書画の表装や茶道具の包みに用いられ、また鑑賞の対象として手鑑などに貼られ、大切に保存された。本展では、尾張徳川家の裂地コレクションから、様々な裂地を紹介した。
展示件数　123 件
印 刷 物　B5 判ハンドブック、ポスターB3 判、チラシ A4 判

ウ「奏でる－楽器と調べ－」

会　　期　【前期】11 月 16 日～12 月 15 日（開室日数 26 日）
　　【後期】令和 2 年 1 月 4 日～1 月 31 日（開室日数 24 日）
主　　催　名古屋市蓬左文庫、徳川美術館、毎日新聞社
観覧者数　【前期】19,416 人
　　【後期】12,958 人
展示意図　　江戸時代の大名家では能楽が必須の教養であったため、尾張徳川家には能楽の楽器を中心に、雅楽の楽器、箏・三味線、琉球王から送られた琉球楽器一式が伝えられている。本展では尾張徳川家伝来の楽器を一堂に紹介した。
展示件数　99 件
印 刷 物　ポスターB2 判、チラシ A4 判

エ「いつだって Kawaii<かわいい>大好き」

会　　期　令和 2 年 2 月 8 日～4 月 5 日（予定）（開室日数 50 日）
（※変更後　令和 2 月 8 日～2 月 28 日）（開室日数 18 日）
主　　催　名古屋市蓬左文庫　徳川美術館
観覧者数　11,079 人（2 月 28 日まで）
展示意図　　平安の昔から今にいたるまで、小さく愛らしいものは、女子の心を惹きつける必須条件であった。本展では、雛祭りにちなみ、雛人形をはじめ、着せ替え人形や抱き人形、手芸や物語など、女子の心を魅了する品々を紹介した。
展示件数　132 件
印 刷 物　ポスターB2 判、チラシ A4 判

3　教育普及

(1) 講座

11 月 28 日「青窓紀聞がおもしろい！」
講　師　鳥居和之（名古屋市蓬左文庫長）　80 人
会　場　徳川園ガーデンホール

(2) 講演会

10 月 31 日「こんなにすごい！尾張藩の古代史研究－藩主・藩士の学びの系譜－」　150 人
講　師　丸山裕美子氏（愛知県立大学教授）
会　場　徳川園ガーデンホール

(3) 蓬左文庫古書市

10 月 26 日～11 月 4 日　1,349 人
会　場　蓬左文庫講座室
主　催　名古屋市蓬左文庫
協　力　名古屋古書籍商業協同組合

(4) 連携事業

ア「第 14 回桜二胡音楽会 2019」

4 月 7 日　2,500 人
会　場　徳川園(蓬左文庫前広場)
主　催　特定非営利活動法人チャン・ビン二胡演奏団
後　援　徳川園 名古屋市蓬左文庫 徳川美術館

イ「徳川園山車揃え」

6 月 2 日　4,000 人
主　催　徳川園 名古屋市蓬左文庫 徳川美術館 東区役所

ウ「歩こう！文化のみち　スタンプラリー」

11 月 3 日　　黒門前のスタンプ数　562 人

主　催　「歩こう！文化のみち」実行委員会、文化のみち推進会議（東区役所・蓬左文庫・徳川園などで構成）

エ「雛巡りスタンプラリー」

令和 2 年 2 月 8 日～3 月 8 日（予定）

（※変更後　令和 2 年 2 月 8 日～2 月 28 日）

全会場の台紙配布数　8,500 枚

会　場　蓬左文庫エントランスホール他

主　催　文化財名古屋保存活用実行委員会（名古屋市蓬左文庫・徳川美術館など）

(5) 団体見学等

大学生・中学生等の団体を受け入れ、解説を行った。

学習院大学大学院、名城大学、金城学院大学、愛知県立大学、名古屋中学校、名古屋市立平田中学校はじめ　10 件 192 人

4　調査研究

(1) 「青窓紀聞」編集作業

尾張名古屋の歴史資料を活字化し、市民の調査研究を支援するため、昭和 34（1959）年から刊行を始めた「名古屋叢書」の第４編「青窓紀聞」の編集作業を行った。

(2) 「蓬左」の発行

蓬左文庫の蔵書を市民にわかりやすく紹介するため、学芸員・大学研究者等と連携し、「蓬左」を発行した。

「蓬左」No.97

・権力と本

・夏季特別展「合戦図－もののふたちの勇姿を描く－」

・「青窓紀聞」の世界

・徳川光国書状

「蓬左」No.98

・蓬左文庫本「日次記（ひなみき）」

・11 代将軍徳川家斉の御通抜における「阿蘭陀写染付西洋風景図花生」及び「台」

・こんなにすごい！尾張藩の古代史研究

・柳沢保光添書

(3) 共同研究活動

学芸員と大学研究者等をメンバーとする蓬左文庫典籍研究会（平成 29 年３月発足）での研究の成果を、講演会・シンポジウムとして市民に紹介した。

ア「蓬左文庫典籍研究会　講演会 江戸時代における古代典籍の伝来－政事要略を中心に－ 」

6 月 30 日　　41 人

講　師　小倉慈司氏（国立歴史民俗博物館准教授）

会　場　愛知大学車道校舎 K903 教室

主　催　蓬左文庫典籍研究会

共　催　名古屋市蓬左文庫

イ「蓬左文庫典籍研究会　シンポジウム 蓬左文庫本『日次記』をめぐる公家と武家Ⅱ」

令和 2 年 2 月 1 日　　35 人

報告者　中島圭一氏（慶應義塾大学文学部教授）、廣瀬憲雄氏（愛知大学文学部教授）、芝田早希氏（名古屋大学大学院人文学研究科博士後期課程）

会　場　愛知大学車道校舎 K1001 教室

主　催　蓬左文庫典籍研究会

共　催　名古屋市蓬左文庫

5　出 版 物

「蓬左」No.97　A4 判　8 頁　4,000 部（無料）

「蓬左」No.98　A4 判　8 頁　3,500 部（無料）

「年間行事予定」　A4 判　10,000 枚（無料）

6　特 別 利 用

利用件数	155 件 1,154 点
原板使用（掲載）	99 件 131 点
原板使用（その他）	44 件 1007 点
熟覧	10 件 12 点

撮影　　2 件　4 点　　名古屋市蓬左文庫受託資料　　328点

7　複　　写

392 件(44,091 枚)

8　資 料 点 数

資料総点数　　121,512点

(内訳)

旧蓬左文庫資料　　64,845点

江戸時代から名古屋市移管（昭和25年）までに収集された尾張徳川家旧蔵書

名古屋市蓬左文庫収集資料　　56,338点

名古屋市移管以降の収集資料

令和元年度受贈資料

堀田番頭大夫家資料　　1件1点

9　資料の貸出

貸出期間	貸出先（会場）	貸出目的（展覧会名･会期）	おもな貸出資料
4月8日～6月29日	滋賀県立安土城考古博物館	安土 - 信長の城と城下町 - 4月27日～6月9日	岐阜図（濃州厚見郡） はじめ2件2点
4月10日～6月4日	徳川美術館	徳川将軍ゆかりの名刀 4月14日～6月2日	殿様御拝領物御目録 はじめ5件5点
6月12日～9月30日	島根県立古代出雲博物館	たたら - 鉄の国 出雲の実像 - 7月12日～9月1日	斉民要術 巻10上 はじめ2件2点
7月9日～9月20日	熊本県立美術館	菊池川二千年の歴史　菊池一族の戦いと信仰 7月19日～9月1日	斉民要術 巻10中 1件1点
9月12日 ～11月30日	斎宮歴史博物館	東雲の斎宮　大来皇女と壬申の乱 10月5日～11月10日	本朝皇胤紹運録 はじめ3件3点
9月20日 ～12月10日	大阪城天守閣	豊臣外交 10月12日～11月17日	朝鮮征伐記 上巻 1件1点
10月10日 ～11月26日	犬山城白帝文庫	付家老のお仕事 - 尾張藩をささえた成瀬と竹腰 - 10月17日～11月19日	金城温古録 61巻 1件1点
11月22日 ～令和2年1月22日	豊橋市二川宿本陣資料館	江戸時代の旅と温泉展 11月30日～令和2年1月13日	滑稽有馬紀行 1件3冊
12月10日 ～令和2年2月20日	熱田神宮宝物館	日本書紀の世界 - 熱田本日本書紀と共に - 令和2年1月1日～1月28日	続日本紀 第八巻 1件1点
合計	貸出先件数 9件		貸出資料件点数 17件19点

10　指定文化財一覧（所蔵資料）

【国指定重要文化財】

	種別	資料名	数量	時代など

1	書	続日本紀	30巻 付10巻	鎌倉時代　金沢文庫旧蔵　駿河御譲本
2	書	侍中群要	10巻	鎌倉時代　嘉元4年（1306）北条貞顕筆 金沢文庫旧蔵　駿河御譲本
3	書	斉民要術	22巻	鎌倉時代 文永11年（1274）北条実時奥書 金沢文庫旧蔵　駿河御譲本
4	書	源氏物語（河内本） 付 近衛信尹筆者極 古筆了佐筆者目録	23冊 付2巻	鎌倉時代　正嘉2年（1258）奥書 金沢文庫旧蔵
5	書	論語集解	10冊	鎌倉時代　元応2年（1320）奥書
6	書	宋版太平聖恵方	24冊 付29冊	中国宋時代（13世紀）刊 金沢文庫旧蔵　駿河御譲本
7	書	朝鮮版高麗史節要（銅活字本）	35冊	李氏朝鮮　景泰4年（1453）刊

【登録有形文化財(建造物)】

蓬左文庫旧書庫

平成 26 年(2014)、黒門・脇長屋など、徳川園内の建造物とともに登録有形文化財(建造物)に登録された。旧書庫は、明治 33 年(1900)に建築された旧尾張徳川家大曽根邸の土蔵を、昭和 10 年(1935)に移転改築したもので、現在は蓬左文庫エントランスとして使用している。

【ユネスコ世界記憶遺産（世界の記憶）】

朝鮮通信使に関する記録

平成 29 年（2017）10 月、日韓合計 111 件 333 点（日本 48 件 209 点、韓国 63 件 124 点）の「朝鮮通信使に関する記録」がユネスコの「世界記憶遺産（世界の記憶）」に登録された。この中には蓬左文庫が所蔵する下記資料が含まれている。

朝鮮国三使口占聯句	1 枚	江戸時代・天和 2 年（1682）
甲申韓人来聘記事	1 冊	江戸時代・明和元年（1764）
朝鮮人御饗応七五三膳部之図	1 冊	江戸時代・文化 8 年（1811）
朝鮮人物旗仗轎輿之図	1 巻	江戸時代・19 世紀

Ⅱ　名古屋市秀吉清正記念館

1　展　示

(1)　常設展

豊臣秀吉・加藤清正に焦点を当て、あわせて彼らの生きた時代を概説している。館蔵資料を中心とし、映像機器も併用している。

開室日数　267 日
観 覧 料　無料
観覧者数　25,914 人

(2) 特別陳列「秀吉清正記念館　秘蔵の逸品」

会　　期　10 月 12 日～12 月 15 日
（開室日数 55 日）
観 覧 料　無料
観覧者数　5,296 人
展示意図　　秀吉清正記念館は開館以来、豊臣秀吉、加藤清正とその時代に焦点をあてて資料の収集、展示を行ってきた。
ここでは、今までに展示される機会が少なく、あまり知られてこなかった館蔵資料、長期借用資料を紹介した。
展示件数　22件
印 刷 物　写真入り目録A4判、チラシA4判、ポスターA2判

(3) 特集展示、パネル展

特別展示室の活用を図るとともに常設展示を補完するため、以下の展示を行った。観覧料無料。

ア パネル展「秀吉と城Ⅰ」

会　　期　2月19日～4月21日（開室日数52日）
観覧者数　1,551人（4月1日から21日まで）
4,670 人（通期）
展示意図　　秀吉は合戦と併行して、築城や城の改修を積極的に行った。生涯を通じて築いた砦や城の数は、膨大になる。ここでは、秀吉が前半生において関わりを持った城郭を中心に紹介した。

イ パネル展「秀吉と城Ⅱ」

会　　期　4 月 27 日～7 月 15 日
（開室日数 60 日）
＊6 月 29 日～7 月 5 日は臨時休館
観覧者数　6,479 人
展示意図　　「秀吉の城Ⅰ」に引き続き、秀吉が後半生に関わりを持った城郭を中心に紹介した。

ウ 特集展示「平成と城」

会　　期　7 月 20 日～9 月 23 日　（開室日数 56 日）
展示意図　　江戸時代に築かれた城郭は、明治維新直後に取り壊され、あるいは第二次世界大戦で焼失するなど、その大半が現存していない。ここでは近現代における城の破壊の歴史と、これからの保存について紹介した。

エ パネル展「関東諸将」

会　　期　12 月 25 日～令和 2 年 2 月 24 日
（開室日数 47 日）
観覧者数　5,131 人
展示意図　　戦国期の東日本では、多くの戦国大名、在地領主、土豪が割拠し、熾烈な争いを繰り広げた。ここでは関東・甲信越地方の武将と城について紹介した。

オ パネル展「武将と治水」

会　　期　令和 2 年 2 月 26 日～4 月 26 日（予定）
（開室日数 52 日）
（※変更後　令和 2 年 2 月 26 日～2 月 28 日
令和 2 年 6 月 2 日～7 月 5 日）
（開室日数 32 日）
観覧者数　262 人（2 月 28 日まで）
展示意図　　戦国の城は、川や沼などの自然地形を生かした縄張、井戸や貯水池を設けての水源確保が重視された。秀吉が備中高松城で行った水攻めは、川や雨水を利用した戦法であった。ここでは水との関わり

に焦点を当てて、戦国の城を紹介した。

2　教育普及

(1) 夏休み事業

ア「ひできよ　夏の陣」

兜の試着や火縄銃にふれる体験を行った。

8 月 11 日　159 人

イ「夏休み自由研究　戦国武将にクイズで挑戦」

展示資料をとおし戦国時代の歴史が学べるよう、小中学生を対象にクイズ問題を配布した。

7 月 20 日～9 月 1 日　800 人

(2) 連携事業

中村公園歴史ウォーク＋（中村図書館・中村文化小劇場との合同事業）　11月14日　14人

3　特別利用

利用件数　50 件

利用資料数

原板使用（掲載）	59 件	59 点
原板使用（その他）	1 件	1 点
模造	1 件	1 点

4　資料の貸出

貸出期間	貸出先（会場）	貸出目的（展覧会名・会期）	おもな貸出資料
9月30日 ～12月10日	大阪城天守閣	「豊臣外交」　10月12日～11月17日	茶地動植物人物文様刺繍ビロード陣羽織　1件1点
9月30日 ～12月10日	鳥取市歴史博物館	「豊臣期の因幡」　10月12日～11月24日	豊臣秀吉画像　1件1点
合計	資料貸出先　2件		貸出資料件点数　2件2点

5　資料収集状況

総合計（令和2.3.31現在）						
	受　贈		購　入		計	
	件	点	件	点	件	点
絵画	32	40	79	120	111	160
工芸	26	26	24	26	50	52
文書典籍	97	330	67	254	164	584
その他	12	27	3	3	15	30
計	167	423	173	403	340	826

6　指定文化財一覧（館蔵資料）

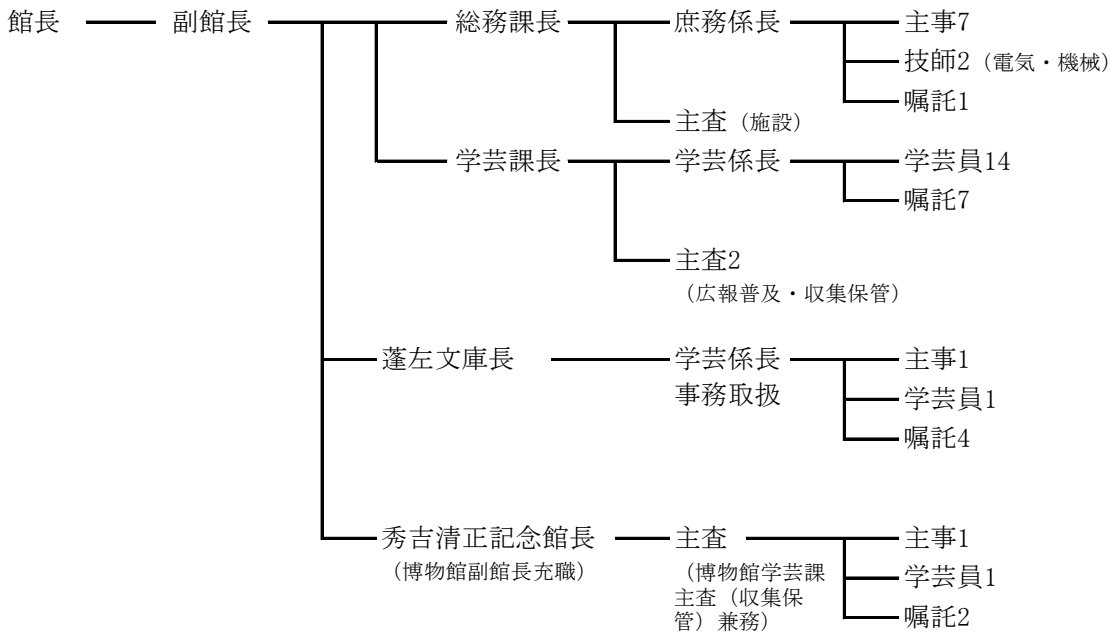
【名古屋市指定文化財】

	種別	資　料　名	数 量	時 代 な ど
1	歴史	兼松家資料	40点	室町時代後期～江戸時代中期
2	歴史	近江木下家資料	39点	安土時代～江戸時代後期

機　　構

（令和2年3月31日現在）

○組織



○博物館職員

館長	三芳　研二	学芸員	塚原　明子
副館長	山田　英一		加藤　和俊
総務課長	加藤　　久		岡村　弘子
庶務係長	松永　一則		藤井　康隆
主査(施設)	今井　裕紀		長谷川　洋一
主　事	安原　百合子		津田　卓子
	新家　論子		佐野　尚子
	金岡　友香		星子　桃子
	稲垣　ゆみ子		横尾　拓真
	鬼頭　孝行		鈴木　　雅
	戸田　真梨子		酒井　康平
	飯田　　聡		羽柴　亜弥
技　師	伊神　敏弘		藤田　紗樹
	倉橋　和也		西澤　光希
嘱　託	深川　彩也	嘱　託	中村　隆之
学芸課長	瀬川　貴文		桐原　千文
学芸係長	武藤　　真		川合　　剛
主査(広報普及)	小林　修二		臼井　裕香
主査(収集保管)	山田　伸彦		伊藤　乃玄
			森永　耕一
			堀　　翔太　　(R1.5.1～)

○蓬左文庫職員

文庫長　鳥居　和之
学芸係長事務取扱　鳥居　和之
主　事　髙木　拓治
学芸員　今和泉　大
嘱　託　井上　善博
山本　泰雄
酒井　喜代枝
蘆澤　耕二

○秀吉清正記念館職員

館長（博物館副館長充職）
山田　英一
主査（博物館学芸課主査（収集保管）兼務）
山田　伸彦
主　事　近藤　良江
学芸員　朝日　美砂子
嘱　託　林　典子
佐々木　昭久

○名古屋市博物館協議会委員（◎会長、●副会長）
順不同

名古屋市立星ケ丘小学校長　上田　資子＊
学校法人菊武学園理事長　高木　弘恵＊
名古屋市地域女性団体連絡協議会理事
青山　淑子＊
徳川美術館長　徳川　義崇＊
熱田神宮宝物館長　大原　和生＊
名古屋市立小中学校ＰＴＡ協議会理事
友松　知美（R1.6.7～）
伊藤　三奈（R1.6.7～）＊
公募委員　庄司　かよみ
日本放送協会名古屋放送局長　島田　敏男＊
中日新聞社名古屋本社事業局長　澤田　敬介＊
●名古屋造形大学教授　池田　洋子
名古屋商工会議所文化・観光委員会副委員長
滝　茂夫
愛知県立大学教授　丸山　裕美子＊
東朋テクノロジー㈱取締役社長　富田　英之
◎名古屋市博物館資料委員　羽賀　祥二
（＊ ～R1.1.5）

○名古屋市博物館資料委員　順不同

考　古
名古屋大学文学部・大学院人文学研究科教授
山本　直人
愛知淑徳大学非常勤講師　赤羽　一郎

美術工芸
愛知県銃砲刀剣類登録審査委員　加藤　博司
立命館大学衣笠綜合研究機構客員研究員
源城　政好
桑名市博物館歴史専門官　大塚　由良美
掛川市ステンドグラス美術館長　日比野　秀男

文書・典籍
名古屋大学名誉教授　羽賀　祥二
名古屋大学文学部・大学院人文学研究科教授
塩村　耕

民　俗
日本民俗学会会員　伊藤　良吉
愛知教育大学教育学部教授　野地　恒有

○秀吉文書集編集委員（◎委員長、●副委員長）
順不同

◎名古屋大学名誉教授　三鬼　清一郎
●石川県立歴史博物館長　藤井　譲治
大阪城天守閣主任学芸員　跡部　信
椙山女学園大学名誉教授　加藤　益幹
九州大学比較社会文化研究院教授　中野　等
中京大学文学部教授　播磨　良紀
三重大学教育学部教授　藤田　達生
前京都橘大学非常勤講師　藤田　恒春
東京大学史料編纂所教授　山口　和夫

名古屋市博物館協議会開催状況

日　　時	場　所	議　　題
第84回定例会 8月2日	名古屋市博物館 第２会議室	・平成30年度事業報告について ・平成30年度決算見込みについて ・令和元年度事業中間報告について ・博物館協議会でのご意見とその対応
第85回定例会 12月5日	名古屋市博物館 第１会議室	・令和元年度事業中間報告について ・令和２年度事業計画（案）について ・博物館協議会でのご意見とその対応 ・博物館の魅力向上調査

予　算

○名古屋市博物館

（単位：千円）

展観事業費	普及費	資料費	管理費	伊勢湾台風60年事業	魅力向上調査
常設展運営費 7,501	教育普及費 2,598	調査研究費 1,565	事務・施設管理費 161,782	展覧会費 15,000	調査費 3,000
企画展等 4,496	その他 190	資料購入費 0			
共催展費 81,256		文化財修復・保存 1,000			
		その他 4,728			
93,253	2,788	7,293	161,782	15,000	3,000
				合計	283,116

○分　館

蓬左文庫		秀吉清正記念館	
展観事業費	管理費	展観事業費	管理費
61,651	49,813	1,357	11,257

総　　計 （本館・分館総合計）
407,194

名古屋市博物館利用状況

1　企画展・共催展

（単位：人）

	有料											無料													計
	個人				団体				身体障害者手帳等			個人					身体障害者手帳等				招待券等	団体			
	一般	高齢者	高大生	小中生	一般	高齢者	高大生	小中生	一般	高大生	小中生	一般	高齢者	高大生	小中生	乳幼児	一般	高大生	小中生	介護者		一般	高大生	小中生	
Ⅰ	4,873		169	308					301	5	10	12		125							2,760				8,563
Ⅱ	1,385	401	94		2	34								438	126		150	4	3	90	1,509				4,236
Ⅲ	117,325		8,595	15,276	70		39	67	6,312	194	543	100		4,478							24,488				177,487
Ⅳ	5,635				221							16	4,123	441	879		596	1	35	373	2,258	7		131	14,716
Ⅴ	4,118		148		107		2		350	5		14		295	654						3,245				8,938
Ⅵ	12,375		623		2				1,446	36		26		616	1,280	5,612					1,973				23,989
計	145,711	401	9,629	15,584	402	34	41	67	8,409	240	553	168	4,123	6,393	2,939	5,612	746	5	38	463	36,233	7	0	131	237,929
Ⅰ´	26,885		1,059	1,356	111				1,724	30	52	53		502							10,353				42,125

		開始	終期	日数
Ⅰ	特別展「挑む浮世絵　国芳から芳年へ」（本年度のみ）	4/1	4/7	6
Ⅱ	企画展 「書で集う」	4/27	6/2	32
Ⅲ	特別展 「スヌーピーミュージアム展」	6/22	9/1	60
Ⅳ	特別展 「治水・震災・伊勢湾台風」	9/21	11/4	38
Ⅴ	特別展 「発掘された日本列島2019・尾張の城と城下町」	11/16	12/28	35
Ⅵ	特別展 「やなせたかしとアンパンマン展」	1/25	※2/28	※29
Ⅰ´	特別展「挑む浮世絵　国芳から芳年へ」（会期通算）※参考	2/23	4/7	36

＊臨時休館　令和元年10月12日（台風）
令和元年9月9日～9月17日（館内点検）
令和2年2月29日～令和2年3月31日（※）

2　常設展

（単位：人）

月	有料						無料										団体件数	計
	個人			団体			個人			身体障害者手帳等			招待券等	団体				
	一般	高齢者	高大生	一般	高齢者	高大生	一般	高大生	小中生	一般	高大生	介護者		一般	高大生	小中生		
4	1,175	137	54	0	0	0	48	103	220	67	1	46	435	0	0	0	0	2,286
5	834	232	71	0	0	0	16	191	189	96	1	48	290	3	0	92	4	2,063
6	1,211	127	120	0	0	0	68	251	351	80	0	63	183	21	0	420	10	2,895
7	4,324	118	293	0	0	0	277	250	1,354	107	1	71	576	8	0	212	4	7,591
8	6,794	142	600	0	0	38	332	369	2,949	117	2	93	1,424	0	4	4	3	12,868
9	1,323	225	67	34	0	0	26	69	483	83	0	61	167	3	0	22	2	2,563
10	1,082	238	36	0	0	0	841	97	423	85	0	43	208	5	0	151	2	3,209
11	1,274	176	54	94	0	0	62	107	394	69	0	49	226	1	0	92	4	2,598
12	1,343	83	83	19	15	0	572	91	321	59	0	38	498	0	0	49	4	3,171
1	1,226	195	102	0	0	0	148	199	853	92	0	125	64	458	0	8,858	108	12,320
2	2,403	83	124	0	0	0	270	102	1,368	73	0	47	286	350	0	6,917	97	12,023
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	22,989	1,756	1,604	147	15	38	2,660	1,829	8,905	928	5	684	4,357	849	4	16,817	238	63,587

3　月別入場者数

（1） 名古屋市博物館

（単位：人）

月	開館日数	常設展	ビデオコーナー	触れてみるコーナー	収蔵品展	特別展企画展	共催展	ギャラリー	講　堂	展示説明室	くらし体験学習室	ナイトミュージアム	むかしのおもちゃで遊ぼう	合　計	累　計
4	25	2,286	159	735	0	404	8,563	11,797	200	95	0	0	0	24,239	24,239
5	26	2,063	194	652	0	3,275	0	15,148	235	121	0	0	0	21,688	45,927
6	25	2,895	194	771	0	557	19,330	9,124	776	73	0	0	0	33,720	79,647
7	25	7,591	300	1,487	0	0	59,680	4,510	942	0	0	0	1,746	76,256	155,903
8	27	12,868	555	2,029	0	0	91,754	6,885	509	218	0	715	5,617	121,150	277,053
9	18	2,563	192	594	0	4,614	6,723	6,799	336	280	0	0	205	22,306	299,359
10	26	3,209	291	891	0	7,767	0	14,077	438	321	0	0	0	26,994	326,353
11	25	2,598	323	1,038	0	2,335	2,784	45,058	1,018	899	0	0	0	56,053	382,406
12	23	3,171	249	893	0	0	6,154	6,942	1,062	1,072	0	0	0	19,543	401,949
1	23	12,320	153	749	0	0	4,758	7,775	476	162	11,472	0	0	37,865	439,814
2	24	12,023	132	999	0	0	19,231	6,566	180	163	9,664	0	0	48,958	488,772
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	488,772
計	267	63,587	2,742	10,838	0	18,952	218,977	134,681	6,172	3,404	21,136	715	7,568	488,772	

＊臨時休館　令和元年10月12日(台風)
　　令和元年9月9日～9月17日(館内点検)
　　令和2年2月29日～令和2年3月31日(※)

（2） 蓬左文庫

（単位：人）

月	展示室開室日数（日）	展示室総入館者数	有料区域分 展示室 共通券	有料区域分 展示室 単独券	閲覧室開室日数（日）	エントランス総入館者数	無料区域部分 閲覧室	無料区域部分 エントランスホールのみ	計	累　計
4	21	27, 692	27, 675	17	26	2, 326	138	2, 188	30, 018	30, 018
5	27	34, 156	34, 125	31	27	2, 045	159	1, 886	36, 201	66, 219
6	22	15, 224	15, 184	40	26	1, 922	128	1, 794	17, 146	83, 365
7	22	13, 145	13, 104	41	26	1, 342	178	1, 164	14, 487	97, 852
8	28	20, 896	20, 896	0	27	1, 480	150	1, 330	22, 376	120, 228
9	20	13, 844	13, 844	0	25	1, 713	138	1, 575	15, 557	135, 785
10	26	17, 111	17, 111	0	26	1, 615	133	1, 482	18, 726	154, 511
11	22	20, 345	20, 333	12	26	2, 095	201	1, 894	22, 440	176, 951
12	13	7, 414	7, 410	4	13	869	82	787	8, 283	185, 234
1	24	12, 958	12, 940	18	24	1, 289	153	1, 136	14, 247	199, 481
2	18	11, 079	11, 073	6	24	1, 582	108	1, 474	12, 661	212, 142
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	212, 142
計	243	193, 864	193, 695	169	270	18, 278	1, 568	16, 710	212, 142	

＊臨時休館　令和元年12月16日～令和2年1月3日（特別整理）
　　令和元年10月12日（台風）
　　令和2年2月29日～令和2年3月31日（※）

(3)　秀吉清正記念館

（単位：人）

月	開館日数(日)	入場者数	累　計	備　　考
4	25	2,131	2,131	
5	26	2,897	5,028	
6	23	2,347	7,375	
7	21	2,195	9,570	
8	26	2,790	12,360	
9	25	3,908	16,268	特別陳列-17日（入場者1,636人）
10	26	5,051	21,319	特別陳列-25日（入場者2,645人）
11	25	3,660	24,979	特別陳列-13日（入場者1,015人）
12	23	1,751	26,730	
1	23	2,125	28,855	
2	24	2,355	31,210	
3	0	0	31,210	
計	267	31,210		

＊臨時休館　令和元年6月29日～令和元年7月5日（館内点検）
令和元年10月12日（台風）
令和2年2月29日～令和2年3月31日（※）

4　ギャラリー・講堂利用日数

室名／月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3※	計
ギャラリー	1	0	21	25	18	21	6	27	24	7	13	20	0	182
	2	0	3	25	2	9	6	13	20	19	13	11	0	121
	3	12	15	25	8	9	6	13	20	19	13	14	0	154
	4	18	21	25	16	11	11	27	24	19	13	21	0	206
	5	24	21	25	11	11	5	27	24	19	11	21	0	199
	6	24	18	23	0	11	11	27	24	19	10	19	0	186
	7	6	18	23	7	5	11	15	19	7	23	23	0	157
	8	24	21	25	18	15	13	27	24	13	10	11	0	201
	屋外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
講堂		1	2	4.5	6	1.5	3	3	10.5	7	4.5	2	0	45
開室日数		25	26	25	25	27	18	27	25	23	23	24	0	268

5 年度別入場者数

（単位：人）

年度	常設展	資料学習室	ふれてみる学習室	部門展	特別展企画展	共催展	ギャラリー	講堂					計	累計
52				184,694	17,099	203,569	48,302	4,195					457,859	
53	85,044			34,077	17,642	103,848	332,031	10,881					583,523	1,041,382
54	104,009			40,013	10,514	184,316	307,735	22,609					669,196	1,710,578
55	130,562	38,702		28,301	8,788	177,337	276,578	25,782					686,050	2,396,628
56	73,655	29,284	6,748	14,237	9,106	66,104	273,704	25,421					498,259	2,894,887
57	105,109	47,214	45,188	21,677	9,806	132,369	281,767	22,247					665,377	3,560,264
58	94,941	36,437	35,079	32,026	9,063	121,480	297,097	22,021					648,144	4,208,408
59	86,112	25,419	23,778	16,515	11,986	96,428	394,204	21,852					676,294	4,884,702
60	85,781	41,651	41,935	25,873	9,968	117,928	649,486	22,278					994,900	5,879,602
61	93,251	37,345	38,390	22,224	19,079	149,416	489,186	21,802					870,693	6,750,295
62	101,447	36,485	36,683	16,823	4,597	182,725	388,101	22,372					789,233	7,539,528
63	17,421	16,919	19,322	22,639	8,736	39,544	336,466	20,443					481,490	8,021,018
年度	常設展	ビデオミュージアム	ふれてみる学習室	収蔵品展等	特別展企画展	共催展	ギャラリー	講堂	展示説明室	くらし体験学習室	ナイトミュージアム	むかしのおもちゃで遊ぼう	計	累計
元	82,336	24,774	22,128	7,687	17,657	161,125	359,028	20,162					694,897	8,715,915
2	69,993	24,795	16,218	4,587	16,561	86,570	340,936	19,230					578,890	9,294,805
3	84,465	31,351	20,711	7,883	40,027	168,556	362,912	23,684					739,589	10,034,394
4	60,601	29,091	19,500	7,399	21,249	86,728	322,388	20,745					567,701	10,602,095
5	72,949	28,573	19,460	10,366	20,165	102,159	363,434	22,956					640,062	11,242,157
6	145,272	46,024	32,257	7,595	22,635	349,128	380,446	25,455					1,008,812	12,250,969
7	83,387	31,717	18,968	0	47,829	160,360	346,948	25,544					714,753	12,965,722
8	95,118	30,912	19,504	11,014	20,539	178,565	416,896	17,552					790,100	13,755,822
9	122,665	36,084	20,061	9,045	16,027	298,052	404,502	24,897					931,333	14,687,155
10	70,970	23,553	11,393	5,433	21,127	164,503	337,974	20,380					655,333	15,342,488
11	52,972	19,836	11,612	5,520	24,470	74,815	315,838	18,734					523,797	15,866,285
12	150,760	32,849	23,405	9,365	18,827	308,229	324,538	18,651					886,624	16,752,909
13	66,376	17,491	8,581	13,592	9,260	134,976	309,714	16,267					576,257	17,329,166
14	56,137	15,185	7,038	32,608	14,874	74,848	283,883	17,713					502,286	17,831,452
15	56,609	12,661	5,928	35,332	16,539	58,023	281,581	12,185					478,858	18,310,310
16	61,536	13,478	11,680	3,883	15,104	119,227	213,778	9,509					448,195	18,758,505
17	82,856	14,285	15,083	5,703	43,756	159,078	239,336	8,484					568,581	19,327,086
18	40,746	11,631	11,526	5,309	38,370	39,189	209,861	6,639					363,271	19,690,357
19	98,783	10,475	13,083	0	11,871	153,825	244,570	5,869					538,476	20,228,833
20	68,419	9,397	11,943	16,403	9,362	87,638	235,367	6,132	3,492				448,153	20,676,986
21	90,214	8,432	12,978	0	16,515	124,384	221,495	8,162	1,233				483,413	21,160,399
22	70,825	6,774	7,983	49,367	7,361	141,400	220,437	7,990	1,289				513,426	21,673,825
23	68,383	4,318	7,669	0	0	111,551	177,111	6,481	2,620	22,251			400,384	22,074,209
24	63,990	6,358	7,099	0	9,640	288,131	167,310	11,222	2,384	21,536	1,786	9,558	589,014	22,663,223
25	68,916	8,596	13,504	0	2,970	132,235	187,082	8,543	2,447	17,953	1,700	12,156	456,102	23,119,325
26	65,515	5,749	14,329	0	3,818	130,075	164,412	5,920	6,229	22,835	943	6,693	426,518	23,545,843
27	69,076	3,207	14,428	4,576	19,025	123,741	158,886	7,511	2,049	22,251	1,256	11,544	437,550	23,983,393
28	70,294	6,905	14,742	0	8,142	139,512	170,943	7,841	6,639	22,455	1,372	6,405	455,250	24,438,643
29	81,784	4,202	13,150	0	0	238,137	170,290	6,230	2,550	23,184	561	7,887	547,975	24,986,618
30	58,372	3,192	10,166	0	4,752	105,671	162,903	6,087	2,074	21,927	851	2,643	378,638	25,365,256
元	63,587	2,742	10,838	0	18,952	218,977	134,681	6,172	3,404	21,136	715	7,568	488,772	25,854,028
計	3,371,238	834,093	694,088	711,766	673,808	6,294,472	12,304,137	664,850	36,410	195,528	9,184	64,454	25,854,028	

※「ふれてみる学習室」は、平成16年度から「触れてみるコーナー」、「ビデオミュージアム」は平成22年から「ビデオコーナー」

※「収蔵品展等」の欄は、平成元年度から22年度については収蔵品展の、27年度については「東日本大震災復興と名古屋」展の入場者数。

出 版 物 案 内

（令和2年3月31日 現在）

出 版 物 名	刊行年	販売価格
博物館資料叢書3　猿猴庵の本		
（第2回配本）　画誌卯之花笠	2001 年	1,200 円
（第3回配本）　新卑姑射文庫	2002 年	1,200 円
（第4回配本）　絵本清洲川・続梵天錦	2002 年	1,200 円
（第5回配本）　新卑姑射文庫　二編	2002 年	1,200 円
（第6回配本）　新卑姑射文庫　三編	2003 年	1,200 円
（第7回配本）　北斎大画即書細図・女謡曲採要集	2004 年	1,200 円
（第8回配本）　御鍬祭真景図略　一	2004 年	1,200 円
（第9回配本）　御鍬祭真景図略　二	2005 年	1,200 円
（第10回配本）　笠寺出現宝塔絵詞伝	2005 年	1,200 円
（第11回配本）　東街便覧図略　巻二	2005 年	1,200 円
（第12回配本）　御船御行列之図・桜見与春之日置・絵本江崎之春	2006 年	1,200 円
（第13回配本）　泉涌寺霊宝拝見図・嵯峨霊仏開帳志	2006 年	1,200 円
（第14回配本）　絵本駱駝具誌	2007 年	1,200 円
（第15回配本）　御鍬祭真景図略　三	2008 年	1,200 円
（第16回配本）　萱津道場参詣記	2008 年	1,200 円
（第17回配本）　東街便覧図略　巻三	2010 年	1,200 円
（第18回配本）　絵本音聞山	2011 年	1,200 円
（第19回配本）　絵本上雲雀	2012 年	1,200 円
（第20回配本）　東街便覧図略　巻四	2014 年	1,200 円
（第21回配本）　張州勝藍開帳集	2015 年	1,200 円
（第22回配本）　東街便覧図略　巻五	2016 年	1,200 円
（第23回配本）　東街便覧図略　巻六	2017 年	1,200 円
（第24回配本）　東街便覧図略　巻七	2018 年	1,200 円
（第25回配本）　東街便覧図略　巻一（改訂版）	2019 年	1,200 円
（第26回配本）　安永洪水図	2020 年	1,200 円
展覧会図録等		
【常設展】「尾張の歴史」ガイドブック	2003 年	700 円
『特別展』 柳宗悦　生誕百年記念	1988 年	800 円
『特別展』 日本の物語絵	1988 年	800 円
『特別展』 日本の美と匠	1992 年	1,000 円
『特別展』 東海百観音名宝展	1993 年	1,200 円
『特別展』 メトロポリタン美術館　浮世絵名品展	1995 年	1,000 円
（企画展）　れきしどうぶつえん	1995 年	300 円
『特別展』 新博物館態勢	1995 年	500 円
『特別展』 ウィーンの歴史と芸術	1997 年	2,300 円
『特別展』 妙法院と三十三間堂	1999 年	1,000 円
（企画展）　中林竹溪	1999 年	500 円
（企画展）　おもしろやきもの展　ハンドブック	2000 年	400 円
『特別展』 北の民　アイヌの世界	2000 年	1,000 円
（企画展）　無病息災　－病を克服する知恵と祈り－	2001 年	700 円
『特別展』 19世紀ウィーンへの旅	2003 年	2,500 円
（企画展）　富士見の里　昔の前津　－江戸から昭和－	2006 年	800 円
『特別展』 からくり　－見る、作る、遊ぶ－	2007 年	600 円
（企画展）　小栗鉄次郎　－戦火から国宝を守った男－	2009 年	700 円
『特別展』 妙心寺　－禅の心と美－	2009 年	2,000 円
『特別展』 名古屋400年のあゆみ	2010 年	1,500 円
『特別展』 変革のとき　桃山	2010 年	2,200 円

出 版 物 名	刊行年	販売価格
（企画展） 名古屋タイムズの見た名古屋	2010 年	200 円
『特別展』 古代メキシコ オルメカ文明展	2011 年	2,000 円
『特別展』 狂言でござる	2011 年	1,300 円
『特別展』 芭蕉－広がる世界、深まる心－	2012 年	2,000 円
『特別展』 驚きの博物館コレクション	2013 年	1,000 円
『特別展』 マジックの時間 公式ガイドブック	2013 年	500 円
『特別展』 奥三河のくらしと花祭・田楽	2013 年	900 円
『特別展』 三英傑と名古屋	2014 年	1,200 円
『特別展』 感じる縄文時代	2014 年	600 円
『特別展』 いつだって猫展（初版）	2015 年	2,200 円
『特別展』 名古屋めしのもと	2015 年	1,500 円
（企画展） 採録 名古屋の衣生活	2017 年	1,000 円
『特別展』 北斎だるせん！	2017 年	2,200 円
（企画展） 博物館イキ！	2018 年	900 円
『特別展』 海たび	2018 年	1,500 円
『特別展』 画僧 月僊	2018 年	2,000 円
（企画展） 書で集う	2019 年	900 円
『特別展』 治水・震災・伊勢湾台風	2019 年	2,000 円
台風記 （「治水・震災・伊勢湾台風」作文集）	2019 年	1,800 円
尾張の城と城下町 （「発掘された日本列島2019」地域展ガイドブック）	2019 年	1,000 円
資料図版目録・館蔵品目録		
館蔵品図録Ⅰ	1982 年	1,000 円
館蔵品図録Ⅱ	1987 年	1,000 円
館蔵品百選	1997 年	1,000 円
館蔵品目録 第2分冊	1997 年	1,200 円
館蔵品目録 第4分冊	2000 年	800 円
資料図版目録3 「尾張の俳諧」	2002 年	900 円
資料図版目録4 「くらしのうつりかわり」	2003 年	600 円
資料図版目録5 「愛知の縄文遺跡」	2004 年	1,000 円
資料図版目録6 「尾崎久弥浮世絵コレクション 歌川国貞」	2005 年	900 円
資料図版目録7 「大和古瓦図版目録」	2006 年	700 円
資料図版目録9 「尾張のやきもの」	2013 年	700 円
資料図版目録10 「横井庄一生活資料」	2015 年	700 円
調査研究報告・博物館資料叢書		
博物館資料叢書1 三寶繪	1989 年	3,000 円
調査研究報告Ⅲ 明治期博覧会出品七宝工総覧	1996 年	500 円
調査研究報告Ⅴ 宝玉七宝	2000 年	800 円
調査報告 重要文化財 甚目寺愛染明王坐像	2012 年	1,200 円
幕末 城下町名古屋復元マップ	2013 年	500 円
名古屋城下お調べ帳（冊子）	2013 年	1,000 円
研究紀要		
名古屋市博物館研究紀要 第15巻	1992 年	300 円
名古屋市博物館研究紀要 第16巻	1993 年	300 円
名古屋市博物館研究紀要 第17巻	1994 年	300 円
名古屋市博物館研究紀要 第21巻	1998 年	300 円
名古屋市博物館研究紀要 第22巻	1999 年	300 円
名古屋市博物館研究紀要 第24巻	2001 年	900 円
名古屋市博物館研究紀要 第25巻	2002 年	700 円
名古屋市博物館研究紀要 第26巻	2003 年	700 円
名古屋市博物館研究紀要 第27巻	2004 年	600 円

出 版 物 名	刊行年	販売価格
名古屋市博物館研究紀要　第29巻	2006 年	700 円
名古屋市博物館研究紀要　第30巻	2007 年	900 円
名古屋市博物館研究紀要　第31巻	2008 年	700 円
名古屋市博物館研究紀要　第32巻	2009 年	600 円
名古屋市博物館研究紀要　第33巻	2010 年	500 円
名古屋市博物館研究紀要　第35巻	2012 年	500 円
名古屋市博物館研究紀要　第36巻	2013 年	500 円
名古屋市博物館研究紀要　第37巻	2014 年	500 円
名古屋市博物館研究紀要　第38巻	2015 年	500 円
名古屋市博物館研究紀要　第39巻	2016 年	500 円
名古屋市博物館研究紀要　第40巻	2017 年	500 円
名古屋市博物館研究紀要　第41巻	2018 年	500 円
名古屋市博物館研究紀要　第42巻	2019 年	700 円
名古屋市博物館研究紀要　第43巻	2020 年	700 円

名古屋市博物館 年報　№43
（令和元年度）

発行日　令和２年８月１日

編　集
発　行　名古屋市博物館
名古屋市瑞穂区瑞穂通 1-27-1
TEL　052（853）2655
FAX　052（853）3636